ONKYO®

スーパーオーディオCD&
DVDオーディオ/ビデオプレーヤー

DV-SP205FX

取扱説明書

DVD VIDEO
DVD AUDIO

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

はじめに	2
接続をする	17
DVDを再生する（基本の再生/いろいろな再生）	27
CD/ビデオCD/スーパーオーディオCDを再生する（基本の再生/いろいろな再生）	39
MP3/WMAディスクを再生する	47
便利な機能	48
設定をする	52
困ったときは	61
その他	64

主な特長

■DVDビデオ、DVDオーディオ、DVD-R/DVD-RW、音楽用CD/CD-R/CD-RW、スーパーオーディオCD、ビデオCD、MP3 CD、WMA*[1]対応

■高画質映像を再現するD2/D1映像出力端子装備

■より滑らかな映像を再現するプログレッシブスキャン方式対応

■最大24ステップまで記憶するプログラム再生

■停止後に、続き再生できるつづき再生機能

■ドルビー*[2]デジタル/DTS*[3]/PCMデジタル音声出力端子

■5.1チャンネル音声出力端子装備

■光デジタル音声出力端子3系統装備

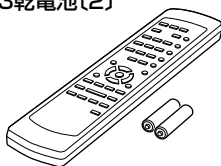
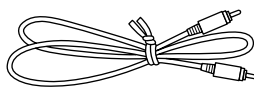
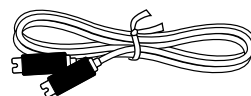
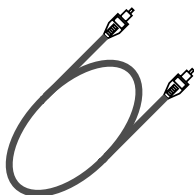
*1 Plays Windows Media™ Windows Media、Windowsのロゴは、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

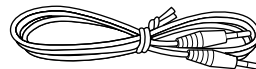
*2 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

*3 本機はデジタル・シアター・システムズ社からのライセンスに基づき製造されています。
"DTS"、"DTS Digital Out"は、デジタル・シアター・システムズ社の商標です。

付属品を確認する

本機には以下の付属品が同梱されています。お確かめください。〔 〕内の数字は数量を表わしています。

- リモコン(RC-596DV)〔1〕
- 単3乾電池〔2〕

- ビデオ用ピンコード(1.5m)〔1〕
映像を送るコードです。

- Sビデオコード(1.5m)〔1〕
Sビデオ映像を送るコードです。

- オーディオ用光デジタルケーブル(1.0m)〔1〕
デジタル音声を送るケーブルです。

- 5.1チャンネルオーディオ用ピンコード(0.6m)〔1〕
アナログ音声(5.1チャンネル)を送るコードです。

- RIケーブル(0.8m)〔1〕
RI端子付きオンキヨー製品とのシステム接続をするケーブルです。(RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。)

- 取扱説明書(本書)〔1〕
- 保証書〔1〕
- オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内〔1〕

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。
色は異なっても操作方法は同じです。

目次

はじめに

主な特長 2
付属品を確認する 2
目次 3
オーディオ機器の正しい使いかた 4
ディスクについての予備知識 8
本体、リモコンボタンの名前と働き 12
前面パネル 12
表示部 13
後面パネル 14
リモコン 15
リモコンを準備する 16
乾電池を入れる/リモコンの使いかた 16

接続をする

接続をする 17
映像/音声ケーブルと端子の種類について 17
接続の前に 17
接続のしくみ 18
SA-907FX（AVセンター）との接続について 18
テレビと接続して楽しむ 19
テレビにD入力端子があるとき/
テレビにSビデオ入力端子があるとき/
テレビのビデオ入力端子に接続する
AVセンターと接続して楽しむ 20
5.1チャンネルサラウンドシステムの接続 20
DVDビデオの5.1chサラウンドを楽しむための接続/
DVDオーディオやスーパーオーディオCDの
アナログマルチチャンネル音声を楽しむための接続
その他の接続 21
デジタル音声入力端子のある機器との接続/
2chアナログ音声入力端子のある機器との接続
RIケーブルの接続 22
INTEC205との接続 23
システム機能につて 23
SYSTEM MODEスイッチについて 24
INTEC205シリーズA-905TXとの
システム動作について 25
電源を入れる 26

DVDビデオ/DVDオーディオを再生する（基本の再生）

再生を始める前に 27
本文の表記について 27
再生の手順 28
再生を停止する/再生を一時停止する/
ディスクを取り出す/早送り、早戻しをする/
頭出し（スキップ）する/静止画/
コマ送り再生をする/映像をスローで見る/
DVDオーディオのマルチチャンネル音声を聞く

こんなこともできます

DVDビデオ/DVDオーディオのいろいろな再生

見たい場面を選んで再生する 31
リピート再生/A－Bリピート再生 32
プログラム再生 33
ディスクのメニューから操作する 34
字幕や音声を変更する 35
画像のアングルを変えたり、拡大表示する 36
DVDオーディオを再生するとき 37
DVD-RW（VRモード）を再生するとき 38

CD/ビデオCD/スーパーオーディオCDを再生する（基本の再生）

再生の手順 39
再生を停止する/再生を一時停止する
ディスクを取り出す/早送り、早戻しをする/
頭出し（スキップ）する/静止画/
コマ送り再生をする/映像をスローで見る/
ビデオCDのメニューについて

こんなこともできます

CD/ビデオCD/スーパーオーディオCDのいろいろな再生

順不同で再生する/音声を切り換える 42
リピート再生/A－Bリピート再生 43
好きなところを選んで再生する 44
プログラム再生 45
スーパーオーディオCDの
ハイブリッドディスクを再生する 46

MP3/WMAディスクを再生する

MP3/WMAディスクを再生する 47
MP3/WMAディスクのフォルダを選んで再生する .. 47

便利な機能

テレビや本体の表示内容を切り換える 48
テレビ画面の表示を切り換える 48
本体の表示部の表示内容を切り換える 48
再生設定画面からいろいろな設定を変える 49
画像を明るくする/画質を鮮明にする 50
オートスタンバイ機能を使う 51

設定をする

初期設定を変える 52
接続するテレビの画面サイズについて 54
プログレッシブ再生の設定について 54
視聴制限（パレンタル）レベルについて 55
CDの音声をMDレコーダーで録音する 55
ディスク言語について 56
「その他」の言語、「メニュー言語」の設定について ... 56
スピーカーの初期設定を変える 58
スピーカーサイズの設定 58
スピーカー音量レベルの設定 59
クロスオーバーの設定 60

困ったときは

困ったときは 61
電源/ディスクの再生/複製制限機能のついた
音楽用CDの再生/各種設定/映像/音声/
MP3/WMAの再生/DVDオーディオの再生/
スーパーオーディオCDの再生/リモコン/
MDやCD-Rへの録音/その他

その他

用語集 64
主な仕様 66
ビデオ部/オーディオ部/総合
修理について 67

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について
この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容(左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

分解禁止

●本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
●本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

●本機を使用できるのは日本国内のみです。
●表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧や船舶などの直流(DC)電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

●本機の通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの底部に通風孔があけてあります。次の点に気を付けてご使用ください。
- 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
- 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
- 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

●本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

●本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

●本機の通風孔、ディスクトレイなどから金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますので、ご注意ください。
●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■ 電源コンセントにはオーディオ機器以外接続しない

●本機の電源コンセントはオーディオ機器専用です。表示された定格以内でご使用ください。表示された定格以上の機器やヘヤードライヤー、電気こたつなどの発熱器具、オーブン、レンジなどの調理器具は絶対に接続しないでください。火災・感電の原因になります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触禁止

●雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

●乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより、火災、けがの原因となります。

オーディオ機器の正しい使いかた

⚠注意

■ 設置上の注意

●強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
●本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
●本機の上に10kg以上の重い物や外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

●本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源プラグをコンセントから抜き、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

●お子様がディスクトレイに手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。
●本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
●ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクが機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。
●レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。
●キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

●電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
●電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

●旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
●移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 電池について

●電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
●電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■ 点検について

電源プラグをコンセントから抜いてください

●お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

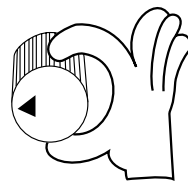
●使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。

●電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

●シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

●表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ディスクについての予備知識

再生できるディスクについて

- 本機はNTSC（日本のテレビ方式)に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクを使用してください。
- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。
- **下記以外のディスクは本機で再生できません。**

再生できるディスクの種類とマーク	
DVDビデオ DVD VIDEO	DVDオーディオ DVD AUDIO
DVD-R　DVD-RW DVD R　DVD RW	SACD SUPER AUDIO CD
ビデオCD COMPACT disc DIGITAL VIDEO	CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO
CD-R COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable　COMPACT disc Recordable	CD-RW COMPACT disc ReWritable　COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable

複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽CDの再生について

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

DVDに表示されているマークについて

DVDのディスクレーベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク	意味
2	記録されている音声の数
2	記録されている字幕言語の数
3	記録されているアングル数
16:9 LB	記録されている映像のアスペクト比（縦横比）
2　ALL	リージョン番号（地域番号）を表わします。本機はリージョン番号「2」、または「ALL」と表示されたディスクを再生することができます。

DVDビデオによって、リージョン番号が指定されているものがあります。リージョン番号は地域を限定するもので、日本はリージョン番号「2」が指定されています。
これ以外のリージョン番号マークのついたディスクを再生しようとすると、画面に再生できない警告表示が出ます。

DVDの再生について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。ディスクによって禁止されている操作をしたときは、画面にディスクによる禁止マークが出ます。また、プレーヤーによって禁止されている操作をしたときは、画面にプレーヤーによる禁止マークが出ます。

DVD-Rの再生について

- 本機はDVDビデオフォーマット（ビデオモード）で記録されたDVD-Rを再生することができます。
- ファイナライズしていないDVD-Rを再生することはできません。

DVD-RWの再生について

- 本機はDVDビデオフォーマット（ビデオモード）、またはビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-RWを再生することができます。
- 本機は再生専用機です。DVD-RWディスクに録画することはできません。
- ファイナライズしていないDVDビデオフォーマット（ビデオモード）のDVD-RWを再生することはできません。
- CPRM（Contents（コンテンツ） Protection（プロテクション） for Recordable（レコーダブル） Media（メディア））技術でコピー保護されたDVD-RW（VRモード）は、再生できないことがあります。

※DVDビデオフォーマット（ビデオモード）記録、およびDVDビデオレコーディングフォーマット（VRモード）記録についてはDVDビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

ビデオCDについて

本機はPBC付きビデオCD（バージョン2.0）に対応しています。（「PBC」は、Playback Controlの略です。）
ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

ディスクの種類	楽しみかた
PBC（ピービーシー）なしビデオCD（バージョン 1.1）	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（画像）を再生できます。
PBC（ピービーシー）付きビデオCD（バージョン 2.0）	PBC（ピービーシー）なしのビデオCDの楽しみかたに加えて、テレビ画面のあるソフトを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（メニュー再生）。この取扱説明書で、説明されている機能が働かない場合があります。

CD-R/CD-RWの再生について

- 本機は音楽CDフォーマット、ビデオCDフォーマット、WMAやMP3の音楽データが記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただし、ディスクよっては「再生できない」、「ノイズが出る」または「音が歪む」などの現象が起きることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RWディスクに録音することはできません。
- ファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクを再生することはできません。

※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

MP3の再生について

- ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- 可変ビットレート（VBR: Variable Bit Rate)に対応しています。
- マルチセッションに対応しています。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- 認識できる階層はフォルダ、トラックを含め8階層までです。
- トラックは、256トラックまで認識できます。
- フォルダ名、トラック名は8文字まで認識できます。文字や記号によっては、正しく表示されないものもあります。

本機で再生できるMP3のファイルのフォーマットは以下のとおりです。
これ以外で記録されたファイルは再生できません。

サンプリング周波数	記録ビットレート
32kHz/44.1kHz/48kHz	32kbps-320kbps
16kHz/22.05kHz/24kHz	8kbps-160kbps

WMAの再生について

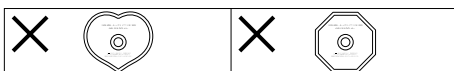
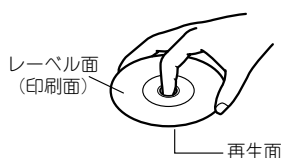
- WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、Windows Media® Player for Windows® XPまたはWindows Media® Player 9 seriesを使用してエンコードすることができます。
- ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- 可変ビットレート（VBR: Variable Bit Rate)に対応しています。
- 「.wma」、または「.WMA」という拡張子がついたWMAファイルのみ再生することができます。
- マルチセッションに対応しています。
- WMAファイルは、米国Microsoft Corporationの認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- トラックは256トラックまで認識できます。
- フォルダ名、トラック名は8文字まで認識できます。文字や記号によっては、正しく表示されないものもあります。

本機で再生できるWMAのファイルのフォーマットは以下のとおりです。
これ以外で記録されたファイルは再生できません。

	サンプリング周波数	記録ビットレート
ステレオ音声	48kHz	128/160/192kbps
	44.1kHz	48/64/80/96/128/160/192kbps
	32kHz	48/64kbps
	22.05kHz	32kbps
モノラル音声	44.1kHz	32/48kbps

ディスクについての予備知識

ディスクの取り扱いについて

■異型ディスクについて
ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。

■取り扱いについて
再生面(印刷されていない面)に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんレーベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。また傷などを付けないようにしてください。

■保管上の注意について
直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所はさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

■レンタルディスクの注意について
ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの、のりがはみ出したしたり、剥がした跡があるものはお使いにならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

■お手入れについて
汚れによる信号読み取りが低減し、音とびや画像の乱れが生じる場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸し、よく絞ってから汚れをふき取り、そのあと柔らかい布で水気をふき取ってください。
アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。

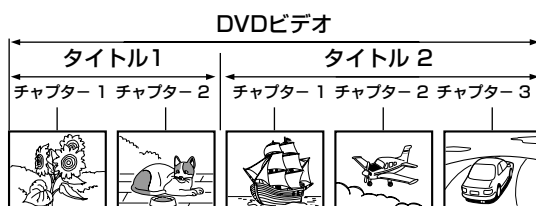
■コピー防止について
本機はアナログコピー防止システムに対応しています。
コピー禁止信号が入っているディスクを本機で再生してビデオデッキで録画しても、コピー防止システムが働いて正常に録画されません。

■著作権について
ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。

本機は、合衆国特許権と知的所有権上保障されたマクロビジョンコーポレーションの許可が必要な著作権保護技術を搭載しており、改造または分解は禁止されています。

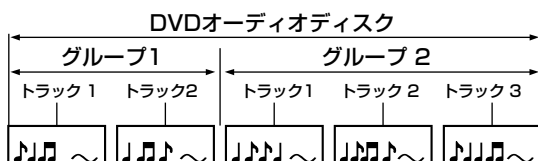
ディスクに関する用語について

■DVDビデオ

- DVDビデオは、「タイトル」という大きな区切りと、「チャプター」という小さな区切りに分かれています。

タイトル：DVDビデオの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。短編集の第1話、第2話の「話」に相当します。
チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。上記「話」を分割する第1章、第2章の「章」に相当します。

- DVDビデオの映画ソフトなどでは、ふつう1つの映画が1つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように1曲が1タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。

■DVDオーディオ

- DVDオーディオは、「グループ」という大きな区切りと、「トラック」という小さな区切りに分かれています。

グループ：ディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。
トラック：グループの内容を、曲ごとにさらに小さく区切ったものです。

- 一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられているディスクもあります。DVDビデオのようにメニューや映像などが収録されているディスクもあります。

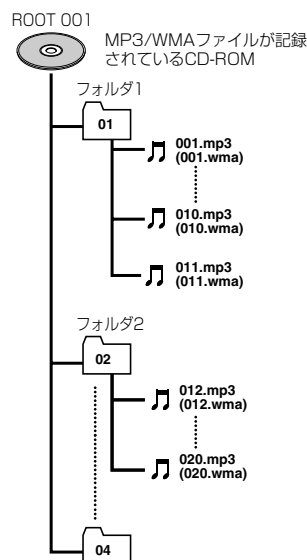
■ビデオCD/スーパーオーディオCD/音楽用CD

- ビデオCD/スーパーオーディオCD/音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

トラック：ビデオCD/スーパーオーディオCD/音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

- 一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。

■WMA/MP3

WMA/MP3のフォルダ/トラックの名前が画面に表示されます。ただし、本機は半角英数字以外の文字には対応していません。半角英数字以外で入力されたフォルダ/トラック/ファイル名は文字化けしたり、正しく表示されないことがあります。

結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露と言います。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。結露している場合は、電源を入れて1〜2時間放置してからご使用ください。また、本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。

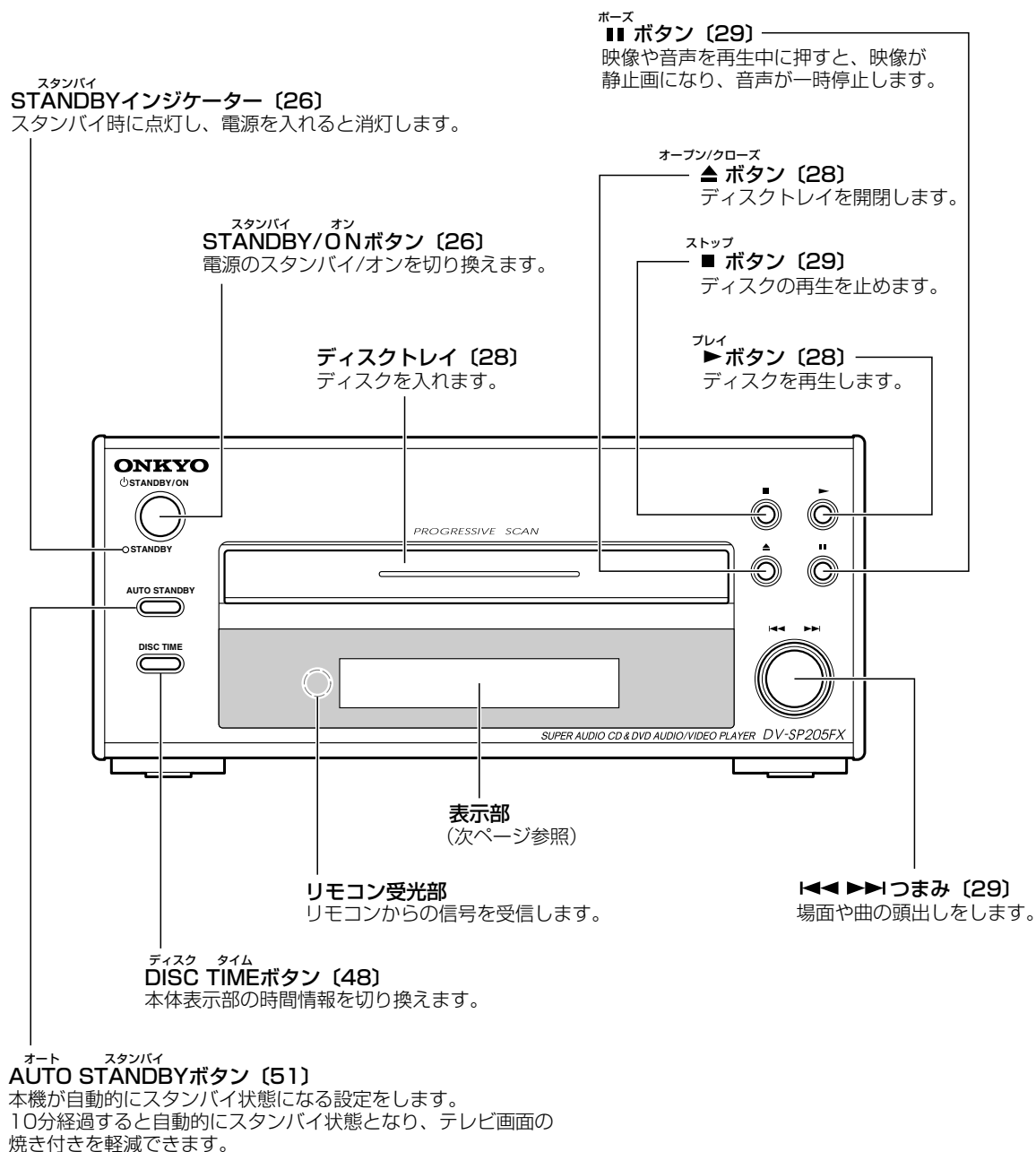
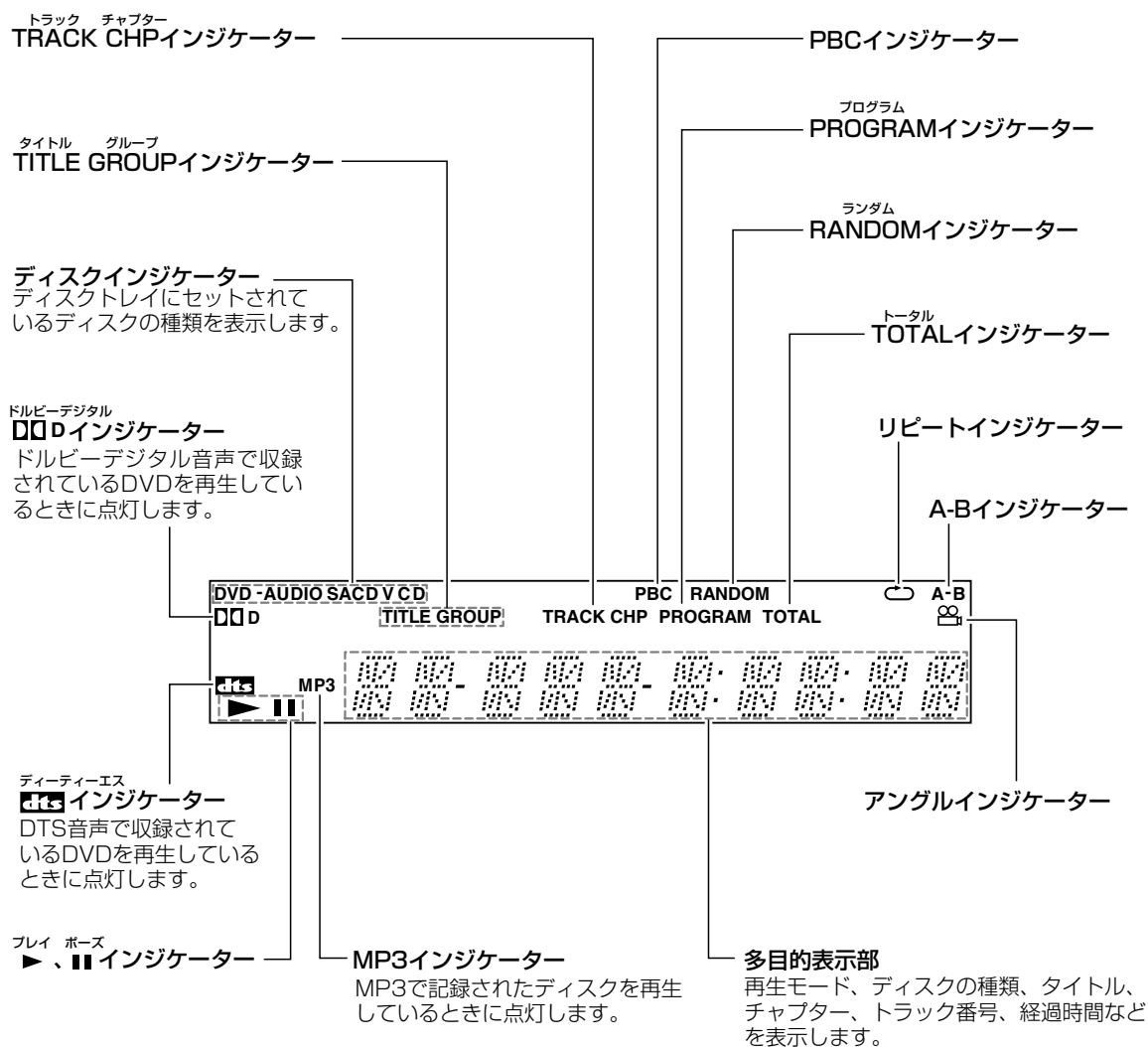
本体、リモコンボタンの名前と働き

前面パネル

詳しい説明は〔　〕内のページをご覧ください。

オート　スタンバイ
AUTO STANDBYボタン〔51〕
本機が自動的にスタンバイ状態になる設定をします。
10分経過すると自動的にスタンバイ状態となり、テレビ画面の焼き付きを軽減できます。

表示部

DV-SP205FX(12-16)(SN29343902) 13 04.9.14, 6:13 PM
ブラック

本体、リモコンボタンの名前と働き

後面パネル

ビデオ　アウトプット
D2/D1 VIDEO OUTPUT端子

D映像が出力される端子です。D映像入力端子のあるテレビやAVセンターなどと接続するときに、市販のD映像ケーブルを使って接続します。

電源コンセント

他のオーディオ機器の電源コードを接続することができます。本機の電源コードを壁の電源コンセントにつないでいれば、本機がスタンバイ状態のときでも本機の電源コンセントは通電しています。

ご注意

本機の電源コンセントに接続する機器の消費電力が100Wを超えないようにしてください。

電源コードの接続について

システム接続で電源コードを機器背面の電源コンセントに順番に接続する場合は、システムの消費電力の合計が100Wを超えないように注意してください。100Wを超える場合は、機器背面の電源コンセントには接続しないで、ご家庭の電源コンセントに接続してください。

システム　モード
SYSTEM MODEスイッチ

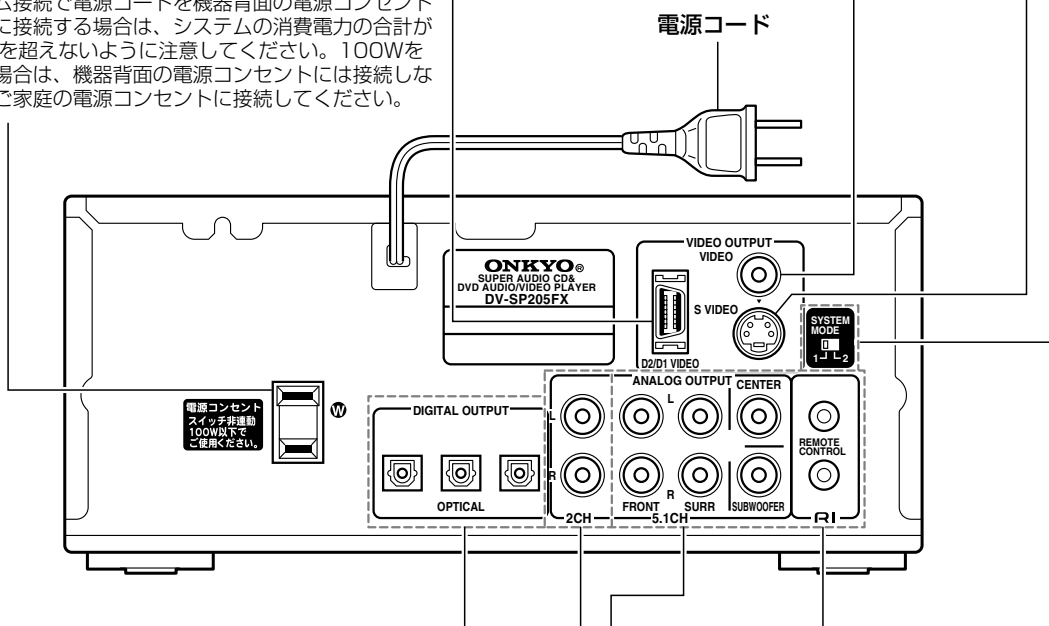
システム接続時の録音モードを切り換えます。
〔24、25〕

ビデオ　アウトプット
S VIDEO OUTPUT端子

Sビデオ映像が出力される端子です。
Sビデオ端子のあるテレビやAVセンターなどと接続するときに、付属のSビデオコードを使って接続します。

ビデオ　アウトプット
VIDEO OUTPUT端子

映像が出力される端子です。
テレビやAVセンターなどと接続するときに、付属のビデオ用ピンコードを使って接続します。

電源コード

デジタル　アウトプット　オプティカル
DIGITAL OUTPUT（OPTICAL）端子

デジタル入力端子付きのAVセンター、MDレコーダー、CDレコーダーなどと接続する端子です。
付属のオーディオ用光デジタルケーブルを使って接続します。

RI 端子

RI端子付きのオンキヨー製AVセンターなどと接続し、連動させるための端子です。
RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

チャンネル　アナログ　アウトプット
2CH ANALOG OUTPUT端子

2チャンネルのアナログ音声が出力される端子です。
市販のオーディオ用ピンコードを使って接続します。

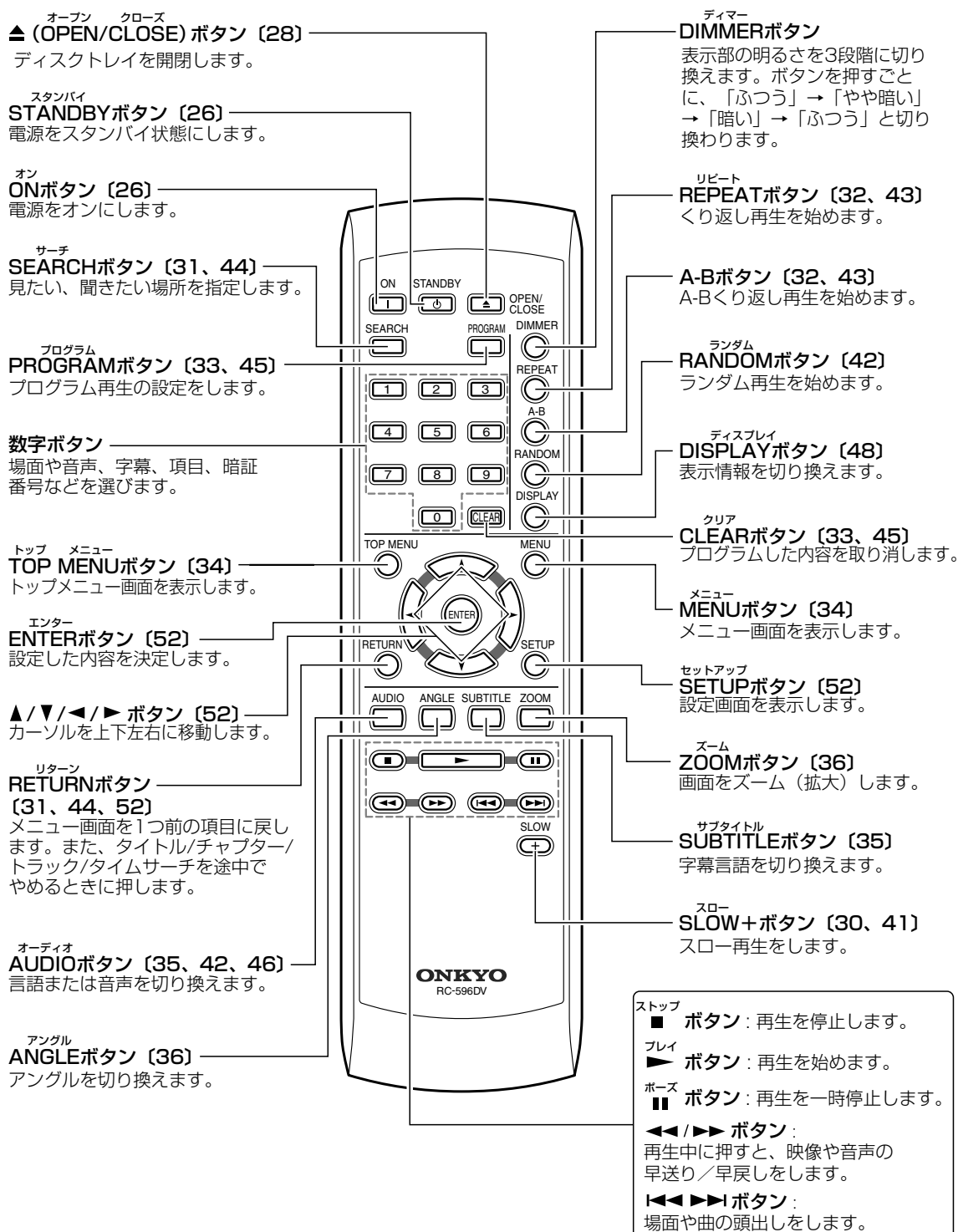
チャンネル　アナログ　アウトプット
5.1CH ANALOG OUTPUT端子

5.1チャンネル音声入力端子のあるAVセンターなどと接続するための端子です。
付属の5.1チャンネルオーディオ用ピンコードを使って接続します。

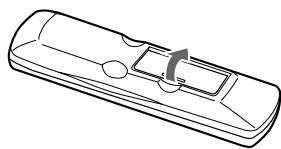
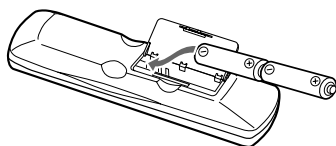
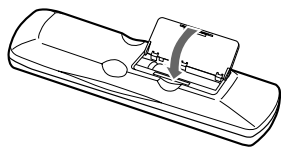
DV-SP205FX(12-16)(SN29343902)　14　04.9.14, 6:13 PM
ブラック

リモコン（RC-596DV）

詳しい説明は〔　〕内のページをご覧ください。

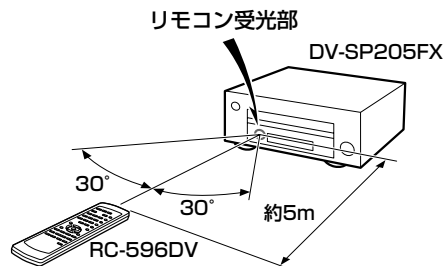
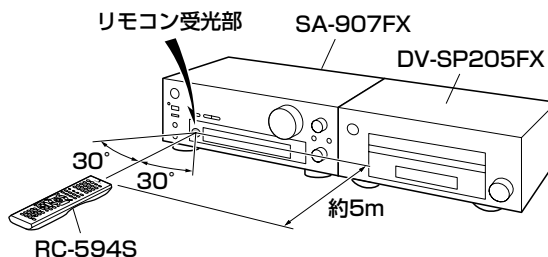
DV-SP205FX(12-16)(SN29343902)　15　04.9.14, 6:13 PM
ブラック

リモコンを準備する

乾電池を入れる

① ツメを矢印方向に押して持ち上げ、カバーをはずす。

② 中の極性表示にしたがって、付属の乾電池2個をプラス⊕、マイナス⊖を間違えないように入れる。

③ カバーを閉める。

リモコン操作の反応が悪くなったら、2本とも新しい乾電池（単3形）と交換してください。

- 電池の極性（⊕、⊖）は、表示通り正しく入れてください。
- 種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用は避けてください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、電池を取り出しておいてください。

リモコンの使いかた

本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

SA-907FXに付属のリモコン（RC-594S）で本機を操作するときは、リモコンをSA-907FXのリモコン受光部に向けてください。

- リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できません。
- リモコンの上に本などの物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

接続をする

映像/音声ケーブルと端子の種類について

映像ケーブルと端子の種類			
ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形	ケーブルや端子の役割
D端子用 接続コード		D2/D1 VIDEO	画質はSビデオより良く、コンポーネントと同レベルです。映像機器の制御信号（アスペクト比など）を送ることができます。
Sビデオコード	＊	S VIDEO	コンポジットの映像よりよい画質が得られます。 本機のSビデオ端子は､S1､S2信号に対応しています。
ビデオコード （コンポジット）	＊	VIDEO	標準的な映像信号で、多くのテレビやビデオなどの映像機器に装備されています。

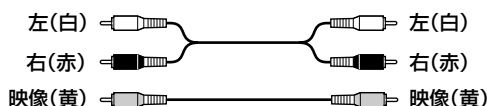
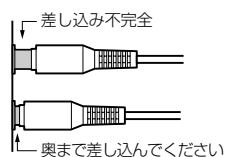
音声ケーブルと端子の種類			
ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形	ケーブルや端子の役割
光デジタルケーブル （OPTICAL（オプティカル））	＊		ドルビーデジタルなどのデジタル音声が得られます。
オーディオ用 ピンコード			アナログ音声を伝送します。
5.1チャンネル オーディオ用 ピンコード	＊	AUDIO OUTPUT L R CENTER FRONT SURR SUBWOOFER	5.1チャンネル音声入力端子のあるAVセンターと接続し、5.1チャンネル音声を伝送します。 DVDオーディオやスーパーオーディオCDのマルチチャンネル音声を再生するには接続する必要があります。

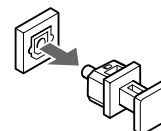
＊印のケーブルは本機に付属しています。

接続の前に

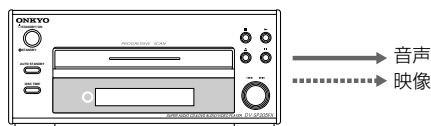
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードは全ての接続が終わるまでつながないでください。

オーディオ用ピンコード、ビデオ用ピンコードは以下のように接続してください。

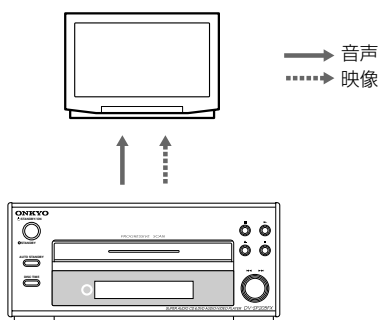
- 入力端子は赤いコネクターを右チャンネル（Rの表示）、白いコネクターを左チャンネル（Lの表示）に、黄色のコネクターをビデオチャンネル（VIDEOの表示）に接続してください。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。
- ビデオコード、オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質や画質が悪くなることがあります。

光デジタル出力端子について

光デジタル出力端子には、保護用キャップが取り付けられています。
接続時は、このキャップを取り外してください。使用しない場合、キャップは必ず元通りに取り付けておいてください。

接続をする

接続のしくみ

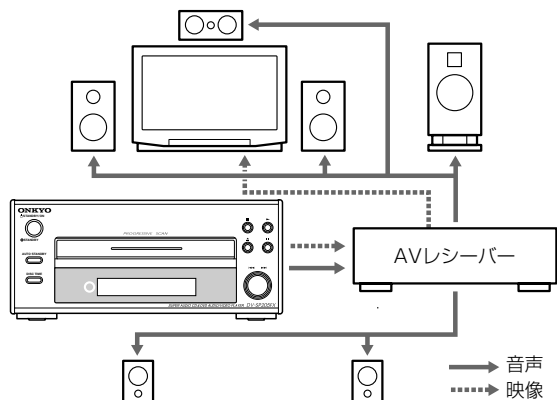
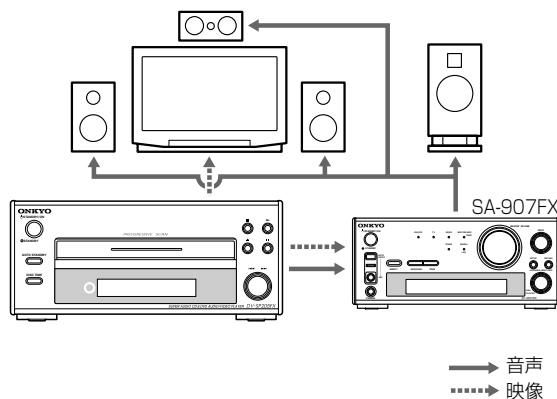
DVDプレーヤーは映像と音声の2種類の信号を出力します。これらの信号をテレビやAVセンターに接続することで、映画や音楽などを楽しむことができます。ご使用になる環境によって接続方法をお選びください。本機はテレビ画面に設定を表示してご使用いただく機能もありますので、音楽用CDやMP3/WMAのCD-R/CD-RWを再生するときも、必ずテレビと接続してください。

テレビと接続して楽しむ（AVセンターをお持ちでない場合） ➡ 19ページ

手軽にDVDプレーヤーを楽しみたい方におすすめします。

- 本機とテレビのみの簡単接続。
- テレビ内蔵のスピーカーで音声を楽しむことができます。

その他の接続 ➡ 21ページ

AVセンターと接続して楽しむ ➡ 20ページ

AVセンターをお持ちの方におすすめします。

- テレビとAVセンターに接続してホームシアターを構築。
- 音声をAVセンターに通すことにより、AVセンターに接続しているスピーカーから臨場感あふれる音声を楽しむことができます。

SA-907FX（AVセンター）との接続について

- 接続のしかたについては、SA-907FXの「接続をする」の項をご覧ください。
- 本機背面のSYSTEM MODEスイッチは、「1」側にしておいてください。（☞24ページ）
- SA-907FXには、映像入力端子はありませんので、テレビは本機と接続してください。（☞19ページ）

テレビと接続して楽しむ（AVセンターをお持ちでない場合）

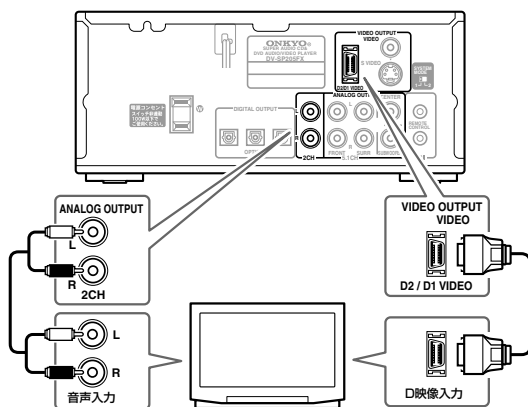
映像接続と音声接続が必要です。

1. 映像接続にはD端子接続、Sビデオ端子接続、ビデオ端子接続の3種類があります。
テレビに応じていずれか1種類の接続を行ってください。

2. 音声接続はテレビの音声入力端子と本機の2CH（チャンネル） ANALOG（アナログ） OUTPUT（アウトプット）端子を接続します。

- 接続するテレビの取扱説明書も参照してください。
- 接続するときは、テレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。本機の電源コードは、まだ接続しないでください。
- **本機の映像出力は直接テレビに接続してください。**
本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、ビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのテレビメーカーにお問い合わせください。
- テレビの音声入力端子がモノラルの場合は、市販のステレオ←→モノラル音声変換ケーブルで接続してください

■テレビにD入力端子があるとき

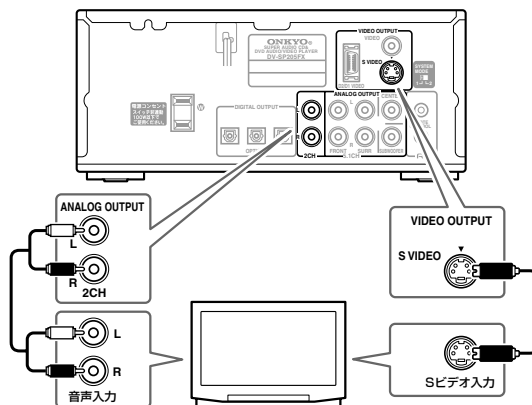
市販のD端子用接続コードでD端子接続をしてください。D端子接続をすると、Sビデオ端子接続よりさらに良い画質を得ることができます。

！ヒント

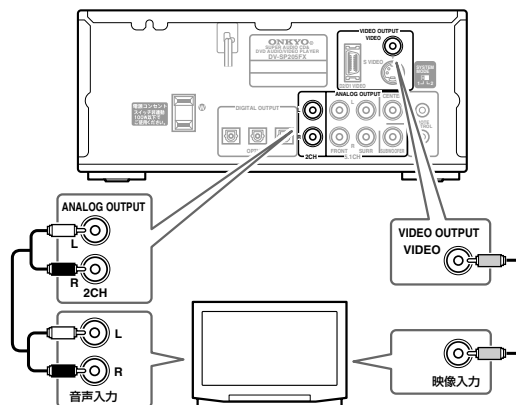
- 本機のD2/D1 VIDEO端子は、接続するテレビのD1、D2、D3またはD4のいずれの入力端子にも接続することができます。
- テレビがプログレッシブ入力に対応しているときは、映像の出力方式をプログレッシブに設定すると、高画質な映像が得られます。設定のしかたは、54ページをご覧ください。

ご注意

プログレッシブ映像をお楽しみになるときは、テレビのD1入力端子以外（D2/D3/D4入力端子）に接続してください。

■テレビにSビデオ入力端子があるとき

付属のSビデオコードでSビデオ端子接続をしてください。通常のビデオ接続よりも良い画質が得られます。

■テレビのビデオ入力端子に接続する

市販のオーディオ用ピンコードと付属のビデオ用ピンコードでビデオ端子接続をします。

AVセンターと接続して楽しむ

5.1チャンネルサラウンドシステムの接続

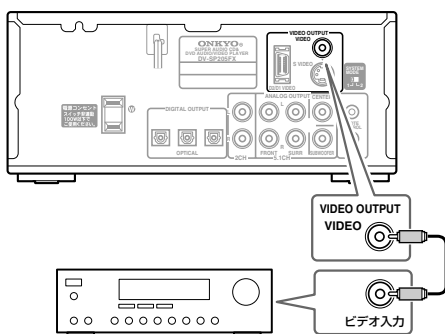
5.1チャンネルサラウンドを楽しむためには以下のような機器が必要です。
- ドルビーデジタル/DTSなどのデジタル入力に対応したAVアンプ、デコーダー
- 5chスピーカー（フロント左右/センター/サラウンド左右）＋サブウーファー

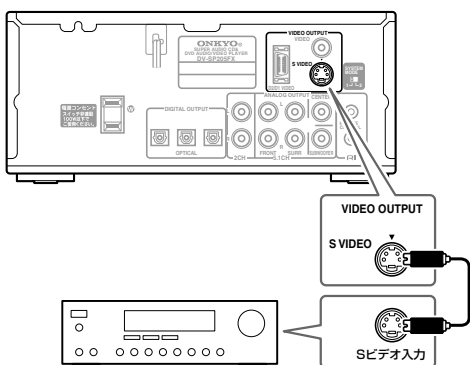
■DVDビデオの5.1chサラウンドを楽しむための接続

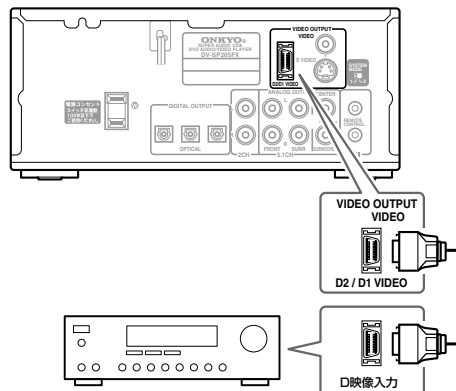
映像の接続

以下のいずれかの接続をします。

●AVセンターのビデオ入力端子に接続する

付属のビデオ用ピンコードでAVセンターのビデオ入力端子と本機のVIDEO OUTPUT端子を接続します。

●AVセンターのSビデオ入力端子に接続する

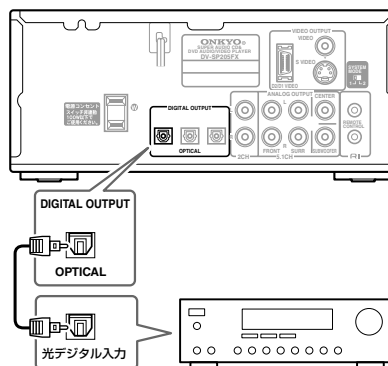
付属のSビデオコードでAVセンターのSビデオ入力端子と本機のS VIDEO OUTPUT端子を接続します。ビデオ接続より良い画質が得られます。

●AVセンターのD映像入力端子に接続する

市販のD端子用接続コードで、AVセンターのD映像入力端子と本機のD2/D1 VIDEO OUTPUT端子を接続します。Sビデオ接続より良い画質が得られます。

音声の接続

●AVセンターのデジタル入力端子（OPTICAL（オプティカル））に接続する

付属のオーディオ用光デジタルケーブルで、AVセンターの光デジタル入力端子と本機のDIGITAL OUTPUT（OPTICAL）端子を接続します。

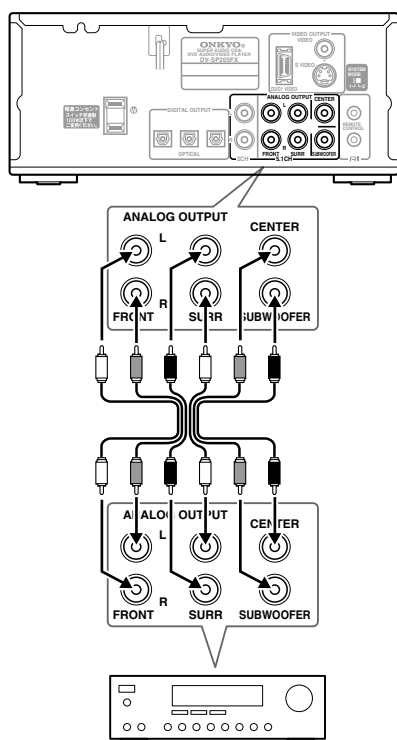
DIGITAL OUTPUT（OPTICAL）端子からは、ドルビーデジタル/DTSの5.1チャンネルデジタル音声とリニアPCM音声を出力します。

光デジタル端子は3系統ありますが、3つとも働きは同じです。

ご注意

スーパーオーディオCDはデジタル音声が出力されません。
21ページの「DVDオーディオやスーパーオーディオCDのアナログマルチチャンネル音声を楽しむための接続」を行ってください。

■DVDオーディオやスーパーオーディオCDのアナログマルチチャンネル音声を楽しむための接続

付属の5.1チャンネルオーディオ用ピンコードを使って、5.1CH ANALOG OUTPUT FRONT、SURR、CENTER、SUB WOOFER端子とAVアンプのマルチチャンネル音声入力端子を接続します。

5.1CH ANALOG OUTPUT端子からDVDオーディオ、スーパーオーディオCDのマルチチャンネル音声を出力します。リニアPCM音声は、FRONT L/R端子から出力します。

！ヒント

アナログ音声録音時など、2チャンネル出力を使うときは、市販のオーディオ用ピンコードを使って2CH ANALOG OUTPUT L/R端子とAVアンプの音声入力端子を接続してください。

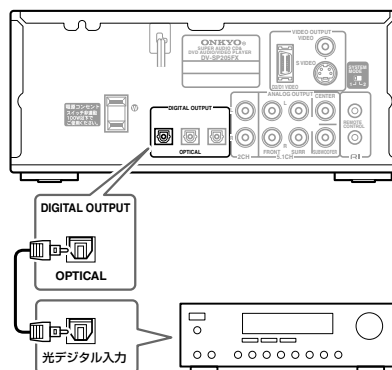
ご注意

- 5.1チャンネルオーディオ用ピンコードは色分けされています。端子の色と同じ色のプラグを接続してください。
- DTS/ドルビーデジタル音声は、5.1CH ANALOG OUTPUT端子からは出力されません。
- 正しく再生できるように、本機と接続したチャンネルが同じかどうか確認してください。
- 接続する機器のPHONO端子または、TUNER端子には、本機を接続しないでください。

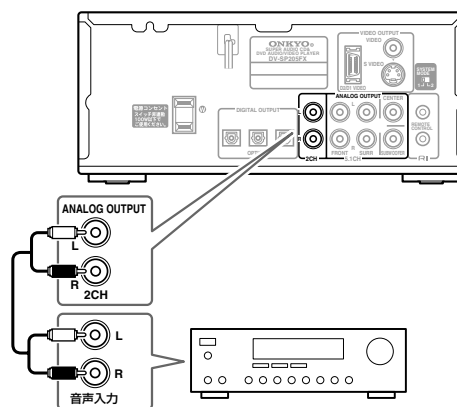
その他の接続

■デジタル音声入力端子のある機器との接続（ドルビーデジタルに対応していない機器）

付属のオーディオ用光デジタルケーブルで、AVセンターの光デジタル入力端子と本機のDIGITAL OUTPUT（OPTICAL）端子を接続します。

この接続をするときは、本機の音声出力設定を「D-PCM」にしてください。（☞55ページ）

■2chアナログ音声入力端子のある機器との接続

市販オーディオ用ピンコードで接続する機器の音声入力端子と本機の2CH ANALOG OUTPUT L/R端子を接続します。

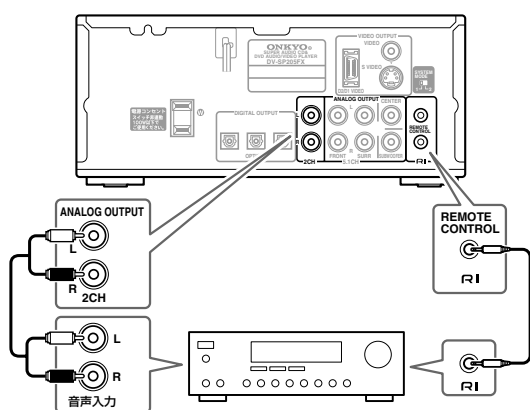
2CH ANALOG OUTPUT L/R端子からは、リニアPCM音声およびDVDオーディオ/DVDビデオ（ドルビーデジタルのみ）、スーパーオーディオCDのマルチチャンネル音声を2チャンネルにダウンミックスして出力します。

ご注意

DTS音声は、2CH ANALOG OUTPUT L/R端子からは出力されません。

接続をする

RI ケーブルの接続

付属のRIケーブルを使ってRI端子の付いたオンキヨー製AVセンターなどを接続すると、AVセンターなどに付属のリモコンを使って本機を操作することができます。

- 使用できるシステム機能については、各機器の取扱説明書をご参照ください。
- RI端子はRI端子付き製品と組み合わせてご使用ください。
- RI端子が2つある場合、2つの端子の働きは同じです。どちらにでもつなげます。
- **RI端子の接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。**

INTEC205との接続

システム機能について

INTEC205シリーズの組み合わせでRIケーブルとオーディオ用ピンコードを接続すると、次のシステム機能を使うことができます。RIケーブルとは、オンキヨーのシステム動作用ケーブルです。

INTEC205シリーズのAVセンター（SA-907FX）、MDレコーダー（MD-105TX）、CDレコーダー（CDR-205TX）、チューナー（T-405TX）と接続する場合

システム接続のしかた

SA-907FXの取扱説明書をご覧ください。

オートパワーオン
本機の電源をオンにしたり、再生を始めると、SA-907FXの電源が自動的にオンになります。
また、本機を使用しないときは、本機のみの電源をスタンバイにすることができます。

ダイレクトチェンジ
本機の▶（プレイ）ボタンを押すと、SA-907FXの入力が自動的にDVDに切り換わります。

リモコン操作
SA-907FXに付属のリモコンで本機を操作することができます。

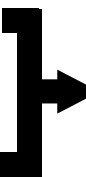
詳しくはSA-907FXの取扱説明書をご覧ください。

タイマー操作
タイマー演奏ができます。

詳しくはSA-907FX、T-405TXの取扱説明書をご覧ください。
※T-405TXと組み合わせてタイマー再生するときは、再生するースに「LINE/DVD」ではなく、「CD」を選んでください。

シグナルシンクロ録音
MDレコーダーまたはCDレコーダーを信号待ち状態にしておけば本機のプレイ操作のみで録音が自動的に始まります。

詳しくはMDレコーダーまたはCDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

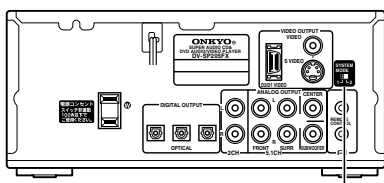
CDダビング
本機からMDレコーダー、CDレコーダーへワンタッチでダビングできます。（CDのみ）

CDシンクロ録音
MDレコーダー、CDレコーダーを録音待機状態にしておけば、本機のプレイ操作のみで録音が自動的に始まります。（CDのみ）

接続と設定については本取扱説明書の24ページをご覧ください。録音操作については、MD-105TXまたはCDR-205TXの各取扱説明書をご覧ください。

- 接続が正しくないと各機能は働きません。オーディオ用ピンコード、RIケーブルを正しく接続してください。
- システム機能については、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

SYSTEM MODEスイッチについて

CDダビンク、CDシンクロ録音機能を以下の製品と組み合わせて使う場合は、組み合わせる製品により、SYSTEM MODEスイッチを切り換える必要があります。

- INTEC205シリーズのアンプ内蔵製品（SA-907FX/A-905TX）とMDレコーダー（MD-105TX）、CDレコーダー（CDR-205TX）との組み合わせ

SYSTEM MODEスイッチ

■SA-907FXと組み合わせる場合の接続と設定

1 本機とSA-907FXをシステム接続する

本機のAUDIO OUTPUT ANALOG（5.1CH）端子とSA-907FXのDVD/CD端子が接続されていること、RI接続がされていることをご確認ください。
（☞22ページをご覧ください。）

2 本機のSYSTEM MODEスイッチを「1」側にする

お買い上げ時は「1」側に設定されています。

3 SA-907FXの入力表示名称を「DVD」にする

入力表示名称の切り換えかたは、SA-907FXの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- CDダビングは、デジタル入力録音になります。
- CDシンクロ録音は、アナログ入力録音になります。デジタル入力でのCDシンクロ録音は働きません。
- 録音操作については、MD-105TXまたはCDR-205TXの取扱説明書のCDダビング、CDシンクロ録音の各項目をご覧ください。

■A-905TXと組み合わせる場合の接続と設定

CDプレーヤーをお持ちの場合

1 本機とA-905TXをシステム接続する

本機のAUDIO OUTPUT ANALOG（2CH）端子とA-905TXのLINE/DVD端子が接続されていること、RI接続がされていることをご確認ください。
（☞22ページをご覧ください。）

2 本機のSYSTEM MODEスイッチを「1」側にする

ご注意

お買い上げ時は「1」側に設定されています。

CDプレーヤーをお持ちでない場合
（本機をCDプレーヤーとしてもお使いの場合）

1 本機とA-905TXをシステム接続する

本機のAUDIO OUTPUT ANALOG(2CH)端子とA-905TXのCD端子が接続されていること、RI接続がされていることをご確認ください。
（☞22ページをご覧ください。）

2 本機のSYSTEM MODEスイッチを「2」側にする

ご注意

お買い上げ時は「1」側に設定されていますので、必ず「2」側に設定してください。

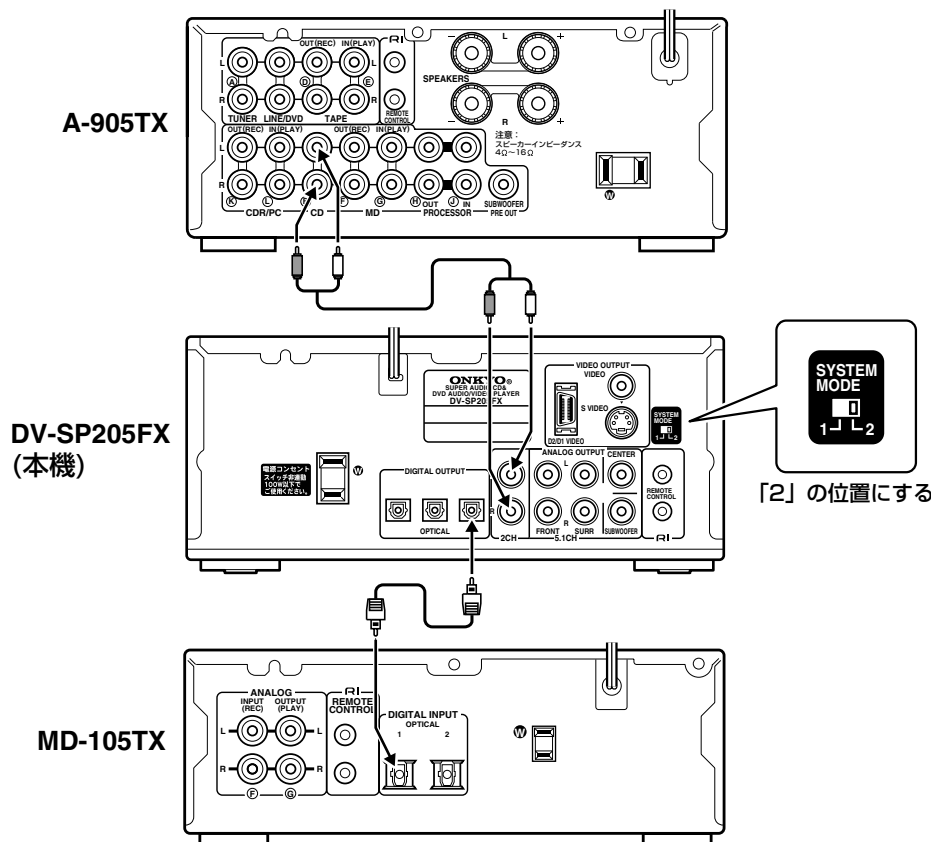
ご注意

- CDダビング、CDシンクロ録音は、デジタル入力録音になります。
- 録音操作については、MD-105TXまたはCDR-205TXの取扱説明書のCDダビング、CDシンクロ録音の各項目をご覧ください。

INTEC205シリーズ A-905TXとのシステム動作について

C-705TX（CDプレーヤー）をお使いでないときに、以下の接続設定によりシステム機能が使えます。
すでにC-705TXをお持ちのときは、C-705TXとのシステム機能をお使いください。

■本機と以下の機器をシステム接続してCDダビング、CDシンクロ録音機能を使う場合

- A-905TX（インテグレーテッドステレオアンプ）
- MD-105TX（MDレコーダー）またはCDR-205TX（CDレコーダー）

接続のしかた

1.本機の2CH ANALOG OUTPUT端子とA-905TXのCD端子を接続してください。
2.本機背面のDIGITAL OUTPUT（OPTICAL）端子とMD-105TXまたは、CDR-205TXのDIGITAL INPUT（OPTICAL）1端子を接続してください。

SYSTEM MODEスイッチの設定のしかた

本機背面のSYSTEM MODEスイッチは、「2」の位置にしてください。

CDダビング、CDシンクロ録音機能

録音のしかたは、MD-105TXまたはCDR-205TXの取扱説明書をご覧ください。

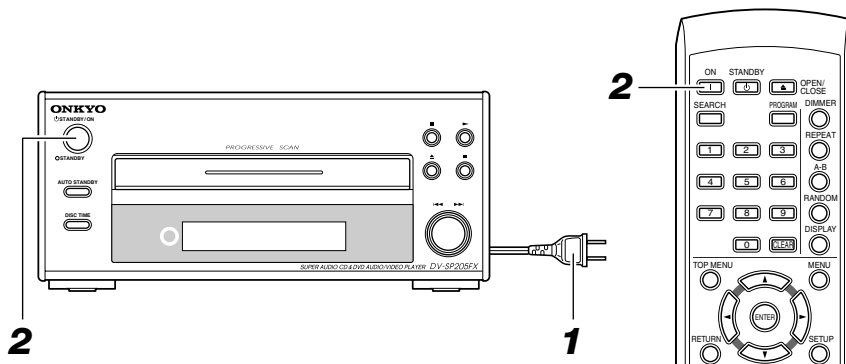
■本機と以下の機器をシステム接続してタイマー再生機能を使う場合

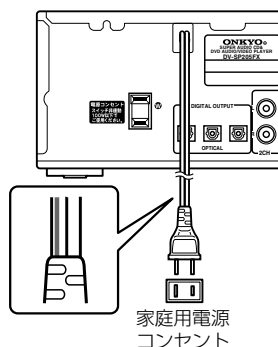
- A-905TX（インテグレーテッドステレオアンプ）
- T-405TX（FMステレオ/AMチューナー）

タイマー再生のしかたは、T-405TXの取扱説明書をご覧ください。
その手順の中で、再生するソースは「CD」を選んでください。

電源を入れる

電源を入れる前に

- 19〜22ページの接続がすべて終了しているか確認してください。(本機はテレビ画面を使って設定や操作をします。テレビの接続は必ず行ってください。)
- 接続しているテレビの電源を入れ、テレビの入力を本機を接続している入力に切り換えます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

1

電源コードを家庭用電源コンセントに接続する

家庭用電源
コンセント

STANDBY(スタンバイ)インジケーターが点灯し、スタンバイ状態になります。

!ヒント

よりよい音で聞いていただくために

本機の電源コードは極性の管理がされています。電源コードの片側に目印線が入っている側を家庭用電源コンセントの溝の広い方に合わせて差し込んでください。

家庭用電源コンセントの溝の広さが同じ場合は、どちらを接続してもかまいません。

オンキヨー製品の背面にある電源コンセントに接続する場合、電源コードの目印線を電源コンセントの広い方(Ⓦマーク側)に合わせてください。

2

本体

または

リモコン

本体のSTANDBY/ON(スタンバイ/オン)ボタンまたは、リモコンのON(オン)ボタンを押して電源を入れる

表示部が点灯し、STANDBYインジケーターは消灯します。

!ヒント

- スタンバイ状態で、本体またはリモコンの▶(プレイ)ボタンあるいは▲(オープン/クローズ)ボタンを押すと電源が入ります。
- 電源を切るときは、本体のSTANDBY/ONボタンまたはリモコンのSTANDBY(スタンバイ)ボタンを押します。

再生を始める前に

再生を始める前に

- DVDビデオ、DVDオーデイオ、ビデオCD、スーパーオーディオCD、MP3/WMAディスク、音楽用CD以外は再生しないでください。(☞「ディスクについての予備知識」8ページ)
- ディスクを再生するときは、テレビの電源を入れ、テレビの入力を本機を接続した入力に切り換えてください。(音楽用CDの通常再生のみ行うときは、必要ありません。)
- DVDオーディオには、「ボーナスグループ」とよばれるグループを持つものがあります。このボーナスグループを再生しようとすると、4桁のパスワードの入力を求める画面が表示されます。再生する場合は、ディスクのケースなどに表示してあるパスワードを入力してください。(☞37ページ)
- テレビやモニターによっては再生時の色の濃さ（カラーレベル）がわずかに薄くなったり、色合い（ティント）が変わったりする場合があります。この場合は、テレビやモニターを調節して適正な状態にしてください。

ご注意

- 再生中は本機を移動したり揺らしたりしないでください。ディスクを傷つけるおそれがあります。ディスクトレイが動いているときは、トレイに触れないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイを上から押さないでください。また、本機で再生可能なディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。
- 映画などの再生が終わると、多くの場合メニュー画面があらわれます。メニュー画面を長く表示させているとそれがテレビ画面に焼き付いて、画面を傷める場合があります。これを避けるため、再生が終わったら、■(ストップ)ボタンを押してください。
- DVDのなかにはディスクをセットするだけで再生するものもあります。このようなディスクの場合、電源を入れるだけでも再生しますので、本機をスタンバイ状態にするときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。

本文の表記について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

DVD-V

市販のDVDビデオ、またはビデオモード（DVDビデオフォーマット）にて記録されたDVD-R/RW

DVD-A

市販のDVDオーディオ

DVD-RW (VR)

VRモード（ビデオレコーディングフォーマット）にて記録されたDVD-RW

VCD

ビデオCD

SACD

市販のスーパーオーディオCD

CD

市販の音楽用CD、またはCDDAフォーマットで音楽が記録されたCD-R/RW

MP3 WMA

WMAまたはMP3ファイルが記録されたCD-R/RW

DVDビデオ/DVDオーディオを再生する（基本の再生）

再生の手順 DVD-V DVD-A DVD-RW (VR)

ご注意

音声を以下の方法で出力している場合は、DTS方式で記録されたディスクを再生しても、音声は出ません。
- アナログ接続したアンプを通して出力している場合（オンキヨー製A-905TXなど）
- テレビのスピーカーから出力している場合

DTS方式の音声を再生するには、DTSに対応したアンプとデジタル端子による接続をする必要があります。（☞20ページ）

1 本体　リモコン　または

本体またはリモコンの▲（オープン/クローズ）ボタンを押して、ディスクトレイを開ける

2

ディスクをディスクトレイに置く

ディスクの印刷面を上にします。
ディスクには2種類のサイズがあります。ディスクトレイのそれぞれのガイド内に収まるように置いてください。

3

本体

または

リモコン

本体またはリモコンの▶（プレイ）ボタンを押す

ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。ディスクによっては、手順**2**の後で▲（オープンクローズ）ボタンを押してディスクトレイを閉じると、自動的に再生が始まります。
- 表示部にセットしたディスクの種類が表示されます。

ディスクの種類 — DVD

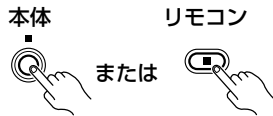
メニュー画面が表示されたら

再生を始めると最初にメニュー画面(ディスクメニュー)を表示するディスクがあります。ディスクメニューの内容や操作方法はディスクによって異なります。メニュー画面が表示されたら、リモコンの▲/▼/◀/▶ボタンやENTER（エンター）ボタンで操作してください。
画面の上下に黒い帯がつくDVDがあります。本機の故障ではありません。

- DVDによっては、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりの動作をしないことがあります。ディスクのジャケットなどもご覧ください。
- 操作中、テレビ画面に禁止マークが表示されることがあります。これは、ディスク側で操作を禁止していることを表します。（☞63ページ）
- DVD-R、DVD-RWの再生は、録音した機器やディスクの状態によって正しく再生できないことがあります。そのときは、DVD-R、DVD-RWを録音する機器の録音/記録スピードや、使用するディスクを替えてみると再生できることがあります。詳しくは、録音する機器の取扱説明書をご覧ください。
- ディスクを2枚以上入れないでください。ディスクを破損する原因となります。
- 次のような場合、テレビ画面にエラーメッセージが表示され、再生されません。（☞63ページ）
  - ・キズがあるディスクを使用したとき
  - ・再生できないディスクを使用したとき
  - ・リージョン番号の違うディスクを使用したとき
  - ・視聴制限により、制限されたディスクを使用したとき（☞55ページ）

DV-SP205FX(25-30)(SN29343902)　28　04.9.14, 6:14 PM
ブラック

DVDビデオ/DVDオーディオを再生する（基本の再生）

再生を停止する DVD-V DVD-A DVD-RW(VR)

本体またはリモコンの■ボタンを押す

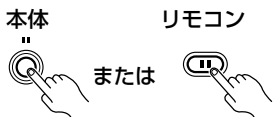
本体の表示部に「RESUME」と表示され、停止した場所を記憶します（つづき再生）。

止めたところから再生する（つづき再生）

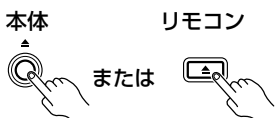
「RESUME」と表示されているときに▶ボタンを押すと、停止した位置から再生を始めます。
停止中に■ボタンをもう一回押すと、つづき再生機能は解除され、次に再生するときは、ディスクの最初から開始します。

ご注意

ディスクによっては、つづき再生ができないものがあります。また、停止した位置の前から再生が始まることもあります。

再生を一時停止する DVD-V DVD-A DVD-RW(VR)

再生中に本体またはリモコンの❚❚ボタンを押す

再生を再開するには、▶ボタンを押してください。

ディスクを取り出す DVD-V DVD-A DVD-RW(VR)

本体またはリモコンの▲ボタンを押して、ディスクトレイを開く

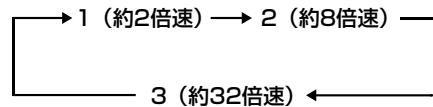
ディスクトレイが完全に開いたら､デイスクを取り出します。その後、再度▲ボタンを押してディスクトレイを閉じてください。

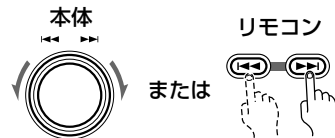
早送り、早戻しをする DVD-V DVD-A DVD-RW(VR)

再生中にリモコンの▶▶ボタンまたは◀◀ボタンを押す

ボタンを押すごとに早さを3段階まで切り換えることができます。

- 通常の再生に戻すには▶ボタンを押します。

！ヒント

- ディスクによっては、早送り、早戻しを禁止しているものがあります。
- タイトル（グループ）をまたぐ早送り、早戻しはできません。
- 約2倍速での早送りサーチのみ音声と字幕が再生されます。
- ディスクや再生しているシーンによっては、早送り、早戻し速度が本書に記載の速度と合わないことがあります。

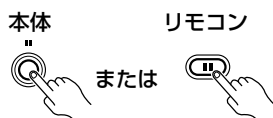
頭出し（スキップ ）する DVD-V DVD-A DVD-RW(VR)

再生中に本体の⏮/⏭つまみを回すか、またはリモコンの⏮/⏭ボタンを押す

⏭方向につまみを回すか、⏭ボタンを押すと、次のチャプター/トラックに進みます。
⏮方向につまみを回すか、⏮ボタンを押すと、再生中のチャプター/トラックの始めに戻り、もう一度つまみを回すか、ボタンを押すと、1つ前のチャプター/トラックに戻ります。

ご注意

- ディスクによっては、スキップを禁止しているものがあります。また、チャプター表示をしないものがあります。
- タイトル（グループ）をまたぐスキップはできません。（ディスクによってはできるものもあります。）
- DVDオーディオでは、チャプターのかわりにトラックがスキップされます。

DVDビデオ/DVDオーディオを再生する（基本の再生）

静止画/コマ送り再生をする DVD-V DVD-RW(VR)

再生中に本体またはリモコンの❚❚（ポーズ）ボタンを押して一時停止（静止画）させ、再度❚❚ボタンを押す（コマ送り再生）

❚❚ボタンを押すたびにコマ送りします。

通常の再生に戻すには

►（プレイ）ボタンを押します。

！ヒント

- ディスクによっては、コマ送り再生が禁止されているものがあります。
- DVDオーディオでは、コマ送り再生できません。

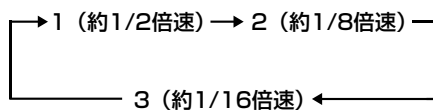
映像をスローで見る DVD-V DVD-RW(VR)

再生中にSLOW（スロー）+ボタンを押す

SLOW（スロー）+ボタンをくり返し押すとスロー再生の速さを以下の3段階に切り換えることができます。

通常の再生に戻すには

►ボタンを押します。

！ヒント

- スロー再生中は音声が出力されません。
- スロー再生のできないディスクもあります。

DVDオーディオのマルチチャンネル音声を聞く（SA-907FXとの組み合わせでお使いの場合） DVD-A

SA-907FXの音声入力を「Multich（マルチチャンネル）」にしてください。
詳しくは、SA-907FXの「マルチチャンネル接続した機器を再生する」の項をご覧ください。

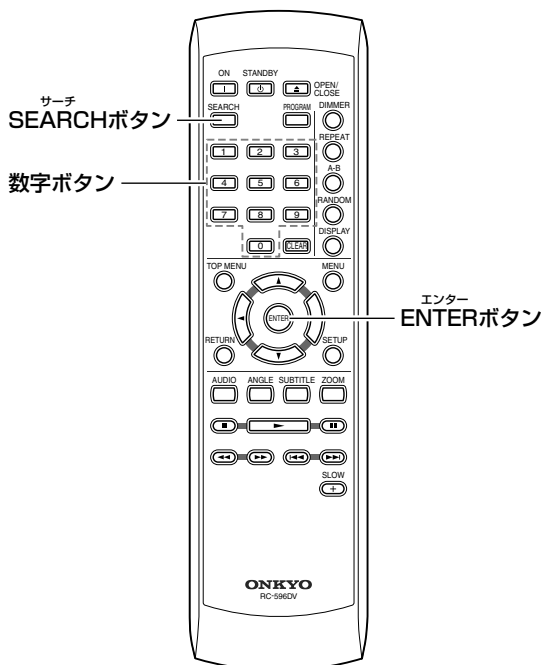
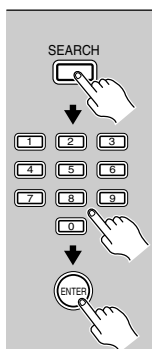
DVDビデオ/DVDオーディオのいろいろな再生

見たい場面を選んで再生する DVD-V DVD-A DVD-RW (VR)

!ヒント

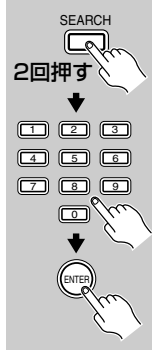
- 数字を間違えたときは、再度入力し直してください。
- 途中でやめるときは、RETURNボタンを押します。
- 数字ボタンのかわりに、▲/▼ボタンで番号を選ぶこともできます。

ご注意

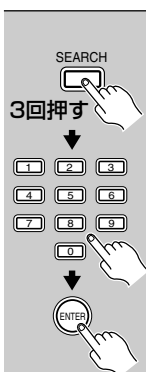
- ディスクによっては、ダイレクト再生ができないことがあります。
- ディスクによっては、チャプター番号を表示しないものがあります。
- プログラム再生中は、操作できません。
- DVDオーディオでは、タイトルのかわりにグループが、チャプターのかわりにトラックがダイレクト再生されます。

タイトルやチャプターを選んで再生する（タイトル/チャプターサーチ）

●タイトルを選ぶ

再生中にSEARCHボタンを押し、10秒以内に数字ボタンでタイトルの番号を入力して、ENTERボタンを押す

例：タイトル12を選ぶには

と押します

●チャプターを選ぶ

再生中にSEARCHボタンを2回押し、10秒以内に数字ボタンでチャプターの番号を入力して、ENTERボタンを押す

時間を指定して再生する（タイムサーチ）

再生中にSEARCHボタンを3回押し、10秒以内に数字ボタンで時間を入力して、ENTERボタンを押す

例：1時間23分40秒を指定するには

と押します

- DVDビデオでは、タイトル経過時間を指定します。
- DVDオーデイオでは、トラック経過時間を指定します。

!ヒント

- 数字を間違えたときは、再度入力し直してください。
- 途中でやめるときは、RETURNボタンを押します。
- 数字ボタンのかわりに、▲/▼ボタンで番号を選ぶこともできます。

ご注意

- タイトルをまたぐタイムサーチはできません。
- DVD オーディオでは、トラックをまたぐタイムサーチはできません。
- ディスクによっては、指定した時間からの再生ができないことがあります。
- 特定の時間だけの再生ができないディスクがあります。
- プログラム再生中は、この操作はできません。

DVDビデオ/DVDオーディオのいろいろな再生

リピート再生（くり返し再生する） DVD-V DVD-A DVD-RW (VR)

タイトルやチャプターなどを選んで、くり返し再生することができます。

1

REPEAT

再生中にREPEAT（リピート）ボタンを押す

2

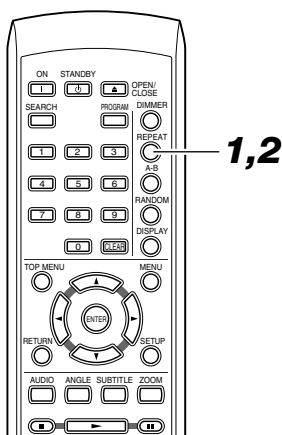
REPEATボタンをくり返し押して、リピート再生の種類を選ぶ

→ **チャプターリピート（C）：**
チャプターをくり返し再生します。
↓
タイトルリピート（T）：
タイトルをくり返し再生します。
↓
通常再生（消灯）：

- DVDオーディオでは、トラック、グループ、通常再生の順に切り換わります。
- DVD-RW（VRモード）では、タイトル、ディスク、通常再生の順に切り換わります。

通常の再生に戻すには、REPEATボタンをくり返し押して、通常再生を選びます。

ご注意

- ディスクによっては、リピート再生が禁止されているものがあります。
- プログラム再生中は、リピート再生はできません。
- リピート再生中に■（ストップ）ボタンを押すと、リピート再生は解除されます。

A-Bリピート再生（選んだ部分だけをくり返し再生する） DVD-V DVD-A DVD-RW (VR)

A点とB点を選び、A点からB点までをくり返し再生します。

1

再生中にA－Bボタンを押す

くり返したい始めの部分（A点）が記憶されます。

2

A-B

くり返したい終わりの部分（B点）で、もう一度A－Bボタンを押す

A点からB点までをくり返し再生します。

通常の再生に戻すには、もう一度A－Bボタンを押します。

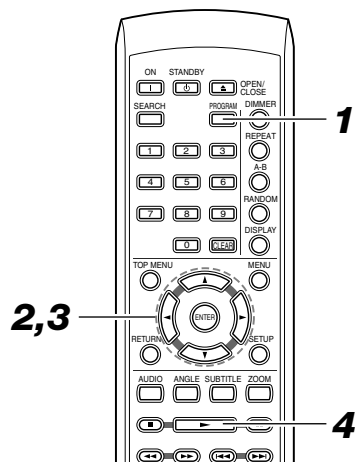
ご注意

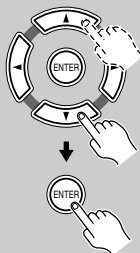
- ディスクによっては、A-B リピート再生が禁止されているものがあります。
- A-Bリピート再生は、同じタイトル（トラック）の中で行ってください。
- 終わりの位置（B点）を設定する前にタイトル（トラック）が終了した場合は、そこが終わりの位置（B点）になります。
- プログラム再生中は、A-B リピート再生はできません。
- A-B リピート再生中に■ボタンを押すと、A-B リピート再生は解除されます。

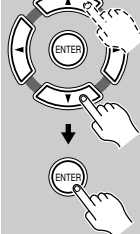
プログラム再生（好きな順序で再生する）

DVD-V　DVD-A

同じタイトル内の好きなチャプター順で再生することができます。最大24ステップまでプログラムすることができます。タイトルはプログラムできません。

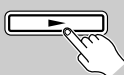
1 停止中にPROGRAM（プログラム）ボタンを押す

PROGRAM

プログラム画面が表示されます。
「T1」は、タイトル1を表わします。

2 ▲/▼ボタンで、プログラムするタイトル番号を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

チャプター選択画面が表示されます。
「C1」は、チャプター1を表わします。

3 ▲/▼ボタンで、プログラムしたいチャプター番号を選び、ENTERボタンを押す

選択エリア　確定エリア

- 確定エリアに選んだチャプターがプログラムされます。
- 続けて別のチャプター番号をプログラムするときは、くり返して操作します。
- チャプター番号をまちがえたときは、▶ボタンを押して、カーソルを確定エリアに移動したあと▲/▼ボタンを押して、取り消したい番号を選び、CLEAR（クリア）ボタンを押します。
  取り消したあと、◀ボタンを押すと、カーソルが選択エリアに戻ります。

4 ▶（プレイ）ボタンを押す

プログラム再生が始まります。
- ディスクを取り出すまで、プログラム内容は記憶されます。

登録内容を追加するには
操作*1*と*3*をくり返す。
前に選んでいる番号のあとに、追加されます。

登録内容を全て取り消すには
(1) 停止中にPROGRAMボタンを押す。
(2) ▶ボタンを押してカーソルを確定エリアに移動する。
(3) CLEAR（クリア）ボタンを3秒以上押す。

登録を途中で止めるには
PROGRAMボタンを押す。

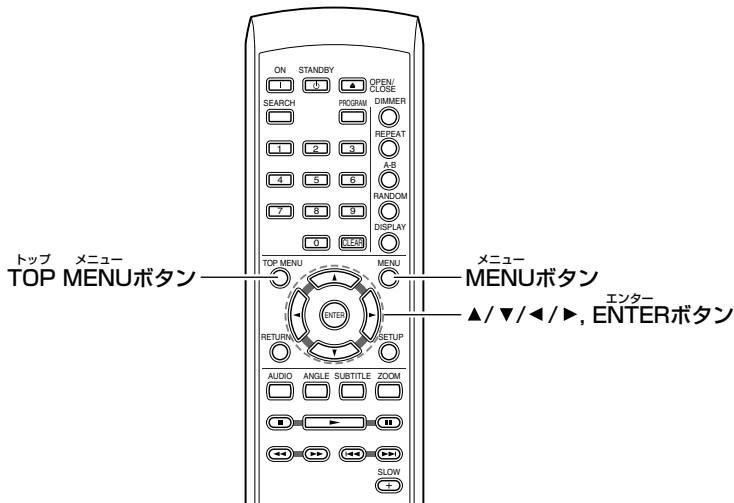
同じディスクでもう一度プログラム再生するには
PROGRAMボタンを押したあと、▶（プレイ）ボタンを押す。
停止すると、プログラム再生は解除されます。

ご注意

- 再生中や一時停止中にプログラムすることはできません。
- タイトルやチャプターが記録されていないディスクやプログラム再生が禁止されているディスクでは、プログラム再生することはできません。
- 別のタイトルのチャプターを同時にプログラムすることはできません。
- DVDオーディオでは、タイトルのかわりにグループを、チャプターのかわりにトラックを選んでプログラム再生してください。

DVDビデオ/DVDオーディオのいろいろな再生

ディスクのメニューから操作する DVD-V DVD-A

ディスクのトップメニューからタイトルを選んだり、メニューから字幕や音声言語、音声出力などを変更することができます。（ディスクにトップメニューが記録されていないときは、トップメニューは表示されません。）

ディスクのトップメニューからタイトルを選ぶ

1

停止中や再生中にTOP MENUボタンを押す

2

▲/▼/◀/▶ボタンで「タイトル」を選び、ENTERボタンを押す

- 選んだタイトルが再生されます。
- ディスクによっては、数字ボタンを押してもタイトルを選ぶことができます。

ご注意

- 上記の手順は、基本的な操作手順です。
- DVDによっては手順が異なりますので、DVDの説明書や画面に表示される手順に従って操作してください。
- DVDオーディオでは、タイトルのかわりにグループを選んで再生してください。
- プログラム再生中は、ディスクのトップメニューから設定することはできません。

ディスクのメニューから字幕や音声などを変更する

1

MENU

停止中や再生中にMENUボタンを押す

2

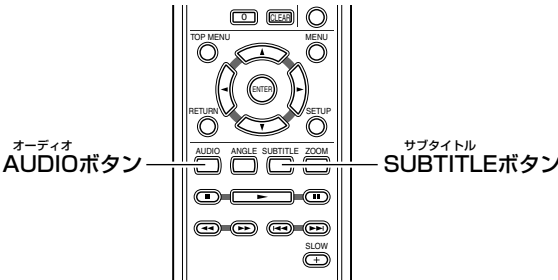
▲/▼/◀/▶ボタンで「メニュー」を選び、ENTERボタンを押す

ディスクによっては、数字ボタンを押してもメニューを選ぶことができます。

ご注意

- 上記の手順は、基本的な操作手順です。
- DVDによっては手順が異なりますので、DVDの説明書や画面に表示される手順に従って操作してください。
- プログラム再生中は、ディスクのメニューから設定することはできません。

字幕や音声を変更する DVD-V DVD-A

字幕言語や音声言語を変更しても、電源を切ったり、ディスクを入れ換えると、初期設定で設定している字幕言語や音声言語になります。いつも希望する字幕言語や音声言語にしたいときは、初期設定画面で希望する言語を設定してください。(☞53、56ページ)

字幕言語を変更する、字幕を消す

1

再生中にSUBTITLEボタンを押す

「切」が表示されたときは、◀/▶ボタンを押して、「日本語」などの字幕言語を表示させてください。

2

SUBTITLEボタンをくり返し押して、字幕言語を選ぶ

1日本語

- 押すたびに、DVDに含まれている字幕言語が切り換わります。
- 字幕を消すには、字幕言語が表示されているときに、◀/▶ボタンを押して、「切」を選びます。

ご注意

- DVDによっては、字幕言語の変更ができないものがあります。
- 字幕が記録されていないディスクのときは、「XX」が表示されます。
- 選んだ字幕言語に切り換わるまで、少し時間がかかることがあります。

音声言語（音声出力）を変更する

1

AUDIO

再生中にAUDIOボタンを押す

2

AUDIOボタンくり返し押して、音声言語（音声出力）を選ぶ

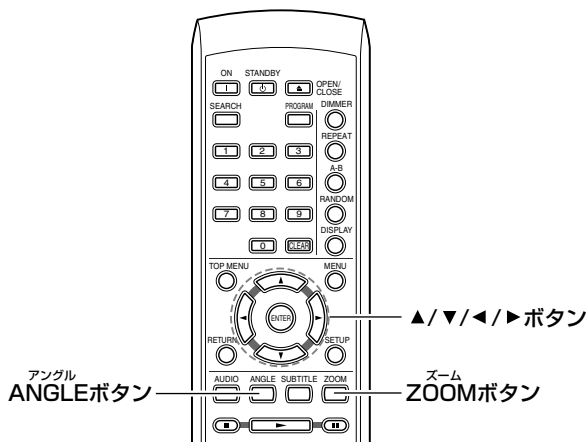
1 DD 5.1ch

押すたびに、音声言語（音声出力）が切り換わります。
（例）
1：オリジナル＜英語＞
（ドルビーデジタル5.1ch サラウンド）
2：オリジナル＜英語＞
（DTS 5.1ch サラウンド）
3：日本語
（ドルビーデジタル2ch）

ご注意

- DVDによっては、音声言語の変更ができないものがあります。
- 音声言語や音声方法の種類については、ディスクの説明書をご覧ください。
- DVDオーディオを再生中に音声言語（音声出力）を切り換えると、再生しているトラックの先頭に戻ることがあります。その場合、切り換えに少し時間がかかります。

画像のアングルを変えたり、拡大表示する DVD-V

DVDにアングルが記憶されていると、1つの場面をいろいろな角度で見ることができます。また、画像を拡大して表示させることもできます。

アングルを変更する

1 再生中、本体表示部に「アングルインジケーター（）」が表示されたら、ANGLEボタンを押す

2 ANGLEボタンをくり返し押して、「アングル番号」を選ぶ

押すたびに、アングルが切り換わります。

ご注意

- DVDによっては、アングルの変更が禁止されているものがあります。
- アングルが記録されていないディスクでは、アングル番号は表示されません。「X X」が表示されます。
- ディスクによっては操作が異なりますので、ディスクの説明書をご覧ください。

画像を拡大表示する（ズーム）

1 一時停止中や再生中に、ZOOMボタンを押す

押すたびに、「ズーム：1（約1.2倍）」→「ズーム：2(約1.5 倍)」→「ズーム：3(約2.0 倍)」→「ズーム表示消灯（解除）」の順に切り換わります。

2 拡大した部分を移動するには、▲/▼/◀/▶ボタンを押す

通常の画面に戻すには

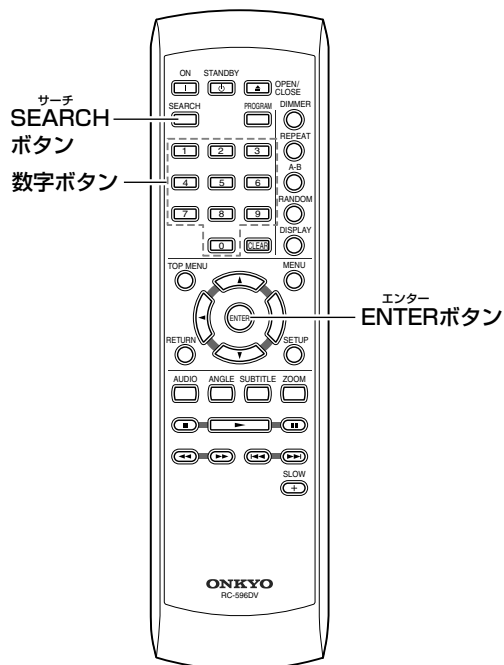
手順***1*** で「ズーム表示消灯（解除）」を選びます。

- ズーム解除すると、拡大画面の移動も解除されます。

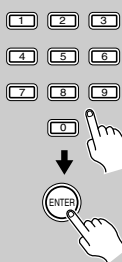
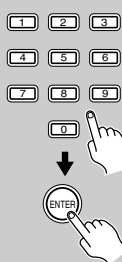
ご注意

- ズーム切換のとき、画面が乱れることがあります。
- 字幕はズームされません。
- 画面の移動中にズーム表示が白色から赤色に変わると、それ以上移動できません。

DVDオーディオを再生するとき DVD-A

DVD オーディオには、ボーナスグループと呼ばれるグループが収録されているものがあります。ボーナスグループは、4 ケタの暗証番号を入力することで再生できるものがあります。

ボーナスグループを再生する

1 DVDオーディオを再生中にSEARCHボタンを押す

2 ボーナスグループの番号を数字ボタンで入力し、ENTERボタンを押す

3 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、ENTERボタンを押す

！ヒント

- 4ケタの暗証番号については、ディスクのジャケットなどをごらんください。
- ディスクによっては、暗証番号を入力しなくても、ボーナスグループが再生されるものもあります

DVDビデオ/DVDオーディオのいろいろな再生

DVD-RW（VRモード）を再生するとき DVD-RW (VR)

VR モード（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されたDVD-RW は、画面に表示されたタイトル映像を選んで再生することができます。

タイトル映像を選んで再生する（ディスクナビ）

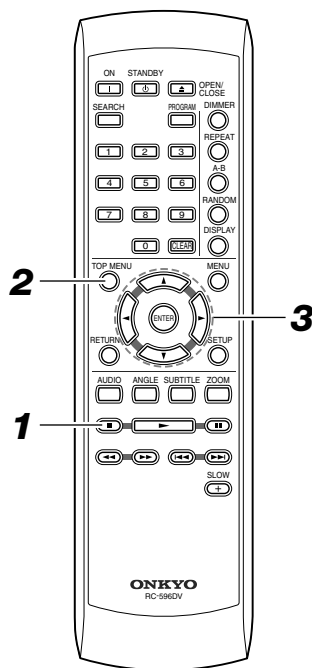
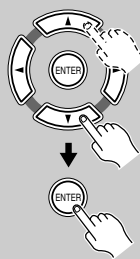
1

DVD-RW（VRモード）をディスクトレイにセットした後、■ボタンを押す

ここで▶ボタンを押すと、1番目のタイトルから再生が始まります。

2

TOP MENUボタンを押す

- ディスクナビ画面が表示されます。
- もう一度押すと、スタートアップ画面に戻ります。

3

▲/▼ボタンを押して「タイトル」を選び、ENTERボタンを押す

- 選んだタイトルの再生が始まります。
- タイトルが4つ以上ある場合は、▼ボタンを押すとページが切り換わります。

ご注意

- ファイナライズされていないディスクは再生できない場合があります。そのときは、記録したDVDレコーダーでファイナライズをしてください。
- VRモードで記録されたDVD-RWでは、データの書き込み状態により、音声および画像が途切れることがあります。
- 再生を停止すると、つづき再生の情報（☞29ページ）が記憶され、スタートアップ画面に切り換わります。この状態でディスクナビ画面を出すと、つづき再生の情報は解除されます。
- 漢字、ひらがな、カタカナは表示できません。
- ディスクナビ画面を表示したとき、タイトル映像が出るまでには多少時間がかかることがあります。
- プレイリストについては、記録したDVDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

■ディスクナビ画面を切り換える

プレイリストが作成されているディスクの場合は、「オリジナル（ORG）」のディスクナビ画面や「プレイリスト（PL）」のディスクナビ画面に切り換えることができます。

ディスクナビ画面を表示中に、◀/▶ボタンを押す

押すたびに切り換わります。

CD/ビデオCD/スーパーオーディオCDを再生する（基本の再生）

再生の手順 CD SACD VCD

1

本体 / リモコン

または

本体またはリモコンの▲（オープン/クローズ）ボタンを押して、ディスクトレイを開ける

2

ディスクをディスクトレイに置く

ディスクの印刷面を上にします。
ディスクには2種類のサイズがあります。
ディスクトレイのそれぞれのガイド内に収まるように置いてください。

3

本体

または

リモコン

本体またはリモコンの▶（プレイ）ボタンを押す

ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。

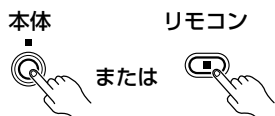
ディスクによっては、手順***2***の後で▲（オープンクローズ）ボタンを押してディスクトレイを閉じると、自動的に再生が始まります。

- 表示部にセットしたディスクの種類が表示されます。

ディスクの種類 —— CD

- CD-R、CD-RWの再生は、録音した機器やディスクの状態によって正しく再生できないことがあります。そのときは、CD-R、CD-RWを録音する機器の録音/記録スピードや、使用するディスクを替えてみると再生できることがあります。詳しくは、録音する機器の取扱説明書をご覧ください。
- ディスクを2枚以上入れないでください。ディスクを破損する原因となります。

CD/ビデオCD/スーパーオーディオCDを再生する（基本の再生）

再生を停止する CD SACD VCD

本体　または　リモコン

本体またはリモコンの■ボタンを押す

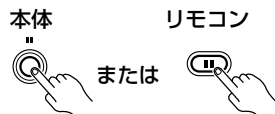
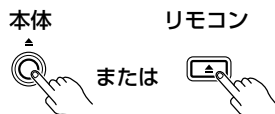
本体の表示部に「RESUME」と表示され、停止した場所を記憶します（つづき再生）。

止めたところから再生する（つづき再生）

「RESUME」と表示されているときに▶ボタンを押すと、停止した位置から再生を始めます。
停止中に■ボタンをもう一回押すと、つづき再生機能は解除され、次に再生するときは、ディスクの最初から開始します。

ご注意

ディスクによっては、つづき再生ができないものがあります。
また、停止した位置の前から再生が始ることもあります。

再生を一時停止する CD SACD VCD

再生中に本体またはリモコンの❚❚ボタンを押す

再生を再開するには、▶ボタンを押してください。

ディスクを取り出す CD SACD VCD

本体またはリモコンの▲ボタンを押して、ディスクトレイを開く

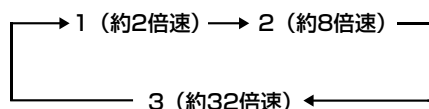
ディスクトレイが完全に開いたら、デイスクを取り出します。その後、再度▲ボタンを押してディスクトレイを閉じてください。

早送り、早戻しをする CD SACD VCD

再生中にリモコンの▶▶ボタンまたは◀◀ボタンを押す

ボタンを押すごとに早さを3段階まで切り換えることができます。

- 通常の再生に戻すには▶ボタンを押します。

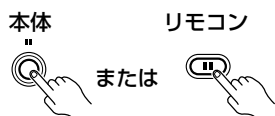
！ヒント

- ディスクによっては、早送り、早戻しを禁止しているものがあります。
- 約2倍速での早送りサーチのみ音声と字幕が再生されます。
- ディスクや再生しているシーンによっては、早送り、早戻し速度が本書に記載の速度と合わないことがあります。

頭出し（スキップ）する CD SACD VCD

再生中に本体の⏮/⏭つまみを回すか、またはリモコンの⏮/⏭ボタンを押す

⏭方向につまみを回すか、⏭ボタンを押すと、次のトラックに進みます。
⏮方向につまみを回すか、⏮ボタンを押すと、再生中のトラックの始めに戻り、もう一度つまみを回すか、ボタンを押すと、1つ前のトラックに戻ります。

CD/ビデオCD/スーパーオーディオCDを再生する（基本の再生）

静止画/コマ送り再生をする VCD

再生中に本体またはリモコンの‖（ポーズ）ボタンを押して一時停止（静止画）させ、再度‖ボタンを押す（コマ送り再生）

‖ボタンを押すたびにコマ送りします。

通常の再生に戻すには

►（プレイ）ボタンを押します。

！ヒント

ディスクによっては、コマ送り再生が禁止されているものがあります。

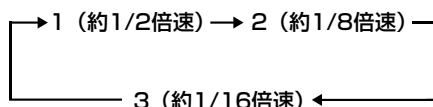
映像をスローで見る VCD

再生中にSLOW（スロー）+ボタンを押す

SLOW（スロー）+ボタンをくり返し押すとスロー再生の速さを以下の3段階に切り換えることができます。

通常の再生に戻すには

►ボタンを押します。

！ヒント

- スロー再生中は音声が出力されません。
- スロー再生のできないディスクもあります。

ビデオCDのメニューについて

PBC（プレイバックコントロール）機能付のビデオCDは、メニューでトラックを選びます。

トラックを選ぶには

数字ボタンで選び、ENTER（エンター）ボタンを押します。

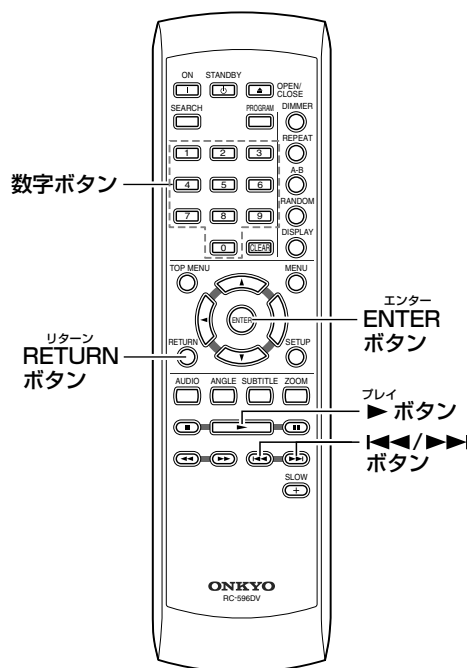
メニューに戻るには

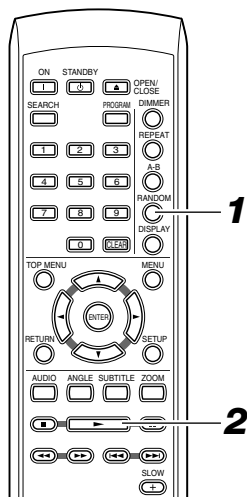
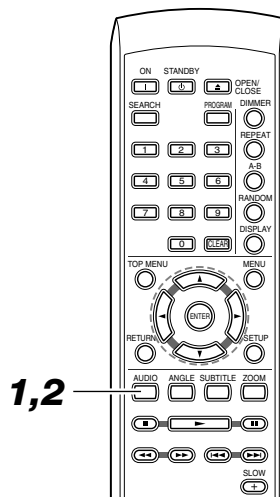
再生中にRETURN（リターン）ボタンを押します。

PBC機能を解除するには

停止状態から|◄◄/►►|ボタンでトラックを選び、►（プレイ）ボタンを押します。

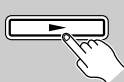
PBC機能を働かせるには

停止状態から►（プレイ）ボタンを押します。

CD/ビデオCD/スーパーオーディオCDのいろいろな再生

順不同で再生する（ランダム再生） CD SACD

1

再生中や停止中にRANDOM（ランダム）ボタンを押す

RANDOM（ランダム）インジケーターが点灯します。

2

停止中に操作したときは、►（プレイ）ボタンを押す

全曲を順不同に再生したあと、停止します。

ランダム再生を解除するには
もう一度RANDOMボタンを押します。

- ランダム再生中に■（ストップ）ボタンを押すと、ランダム再生は解除されます。

ご注意

- プログラム再生中は、ランダム再生できません。
- ランダム再生は、本機が自動的に曲を選んで再生します。（自分で選曲できません。）
- ランダム再生中にREPEAT（リピート）ボタンを押すと、ランダム再生は解除され、リピート再生になります。

音声を切り換える CD VCD

1

再生中にAUDIO（オーディオ）ボタンを押す

2

AUDIOボタンを（くり返し）押して、音声を切り換える

押すたびに音声が以下のように切り換わります。

リピート再生（くり返し再生する） CD SACD VCD

全曲や1曲だけを選んで、くり返し再生することができます。

1

再生中にREPEATボタンを押す

2

REPEATボタンをくり返し押して、リピート再生の種類を選ぶ

→ 1曲リピート（REPEAT TRK）：
1曲をくり返し再生します。

↓

全曲リピート（REPEAT DSC）：
全曲をくり返し再生します。

↓

通常再生

通常の再生に戻すには、REPEATボタンをくり返し押して、通常再生を選びます。

ご注意

- 停止中に操作したときは、リピート再生の種類を選んだ後、►ボタンを押して再生を始めてください。
- プログラム再生中にリピート再生すると、プログラム再生がくり返し再生されます。
- リピート再生中にRANDOMボタンを押すと、リピート再生は解除され、ランダム再生になります。
- ビデオCDのPBC再生中は、リピート再生できません。

A-Bリピート再生（選んだ部分だけをくり返し再生する） CD SACD VCD

A点とB点を選び、A点からB点までをくり返し再生します。

1

A-B

再生中にA－Bボタンを押す

くり返したい始めの部分（A点）が記憶されます。

2

A-B

くり返したい終わりの部分（B点）で、もう一度A－Bボタンを押す

A点からB点までをくり返し再生します。

通常の再生に戻すには、もう一度A－Bボタンを押します。

ご注意

- A-Bリピート再生は、同じトラックの中で行ってください。
- 終わりの位置（B点）を設定する前にトラックが終了した場合は、そこが終わりの位置（B点）になります。
- プログラム再生中は、A-B リピート再生はできません。
- A-Bリピート再生中に■ボタンを押すと、A-Bリピート再生は解除されます。
- ビデオCDのPBC再生中は、A-Bリピート再生はできません。

CD/ビデオCD/スーパーオーディオCDのいろいろな再生

好きなところを選んで再生する CD SACD VCD

トラックを選んで再生する（トラックサーチ）

1

再生中にSEARCHボタンを押す

2

10秒以内に再生したいトラックの番号を数字ボタンで選び、ENTERボタンを押す

例：トラック12を選ぶには

と押します

時間を指定して再生する（タイムサーチ）

1

SEARCH

2回押す

再生中にSEARCHボタンを2回押す

2

10秒以内に数字ボタンで時間を入力して、ENTERボタンを押す

例：3分40秒を指定するには

と押します

！ヒント

- 数字を間違えたときは、再度入力し直してください。
- 途中でやめるときは、RETURNボタンを押します。
- 数字ボタンのかわりに、▲/▼ボタンで番号を選ぶこともできます。

ご注意

- プログラム再生中は、操作できません。
- 手順***2*** の操作だけでも再生することができます。
- ビデオCDのPBC再生中は、トラックサーチはできません。

ご注意

- トラックをまたぐタイムサーチはできません。
- プログラム再生中は、この操作はできません。
- ビデオCDのPBC再生中は、タイムサーチはできません。

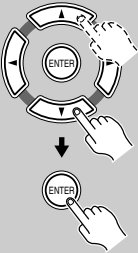
プログラム再生(好きな順序で再生する)

CD SACD VCD

好きなトラック順で再生することができます。最大24ステップまでプログラムすることができます。

1 停止中にPROGRAM(プログラム)ボタンを押す

PROGRAM

プログラム画面が表示されます。
「T1」は、トラック1を表わします。

2 ▲/▼ボタンで、プログラムしたいトラック番号を選び、ENTER(エンター)ボタンを押す

選択エリア　確定エリア

- 確定エリアに選んだトラックがプログラムされます。

- 続けて別のトラック番号をプログラムするときは、くり返して操作します。
- トラック番号をまちがえたときは、▶ボタンを押したあと▲/▼ボタンを押して、取り消したい番号を選び、CLEAR(クリア)ボタンを押します。
  取り消したあと、◀ボタンを押すと、再びプログラムを記憶させることができます。

3 ▶(プレイ)ボタンを押す

プログラム再生が始まります。
- ディスクを取り出すまで、プログラム内容は記憶されます。

登録内容を追加するには
操作***1***と***2***をくり返す。
前に選んでいる番号のあとに、追加されます。

登録内容を全て取り消すには
(1) 停止中にPROGRAMボタンを押す。
(2) ▶ボタンを押してプログラム番号を選ぶ。
(3) CLEAR(クリア)ボタンを3秒以上押す。

登録を途中で止めるには
PROGRAMボタンを押す。

同じディスクでもう一度プログラム再生するには
PROGRAMボタンを押したあと、▶(プレイ)ボタンを押す。
停止すると、プログラム再生は解除されます。

再生中や一時停止中にプログラムすることはできません。

CD/ビデオCD/スーパーオーディオCDのいろいろな再生

スーパーオーディオCDのハイブリッドディスクを再生する

スーパーオーディオCDエリアとCDエリアとが2層になっているディスク（ハイブリッドディスク）では、お聞きになりたい音声を選んで再生することができます。

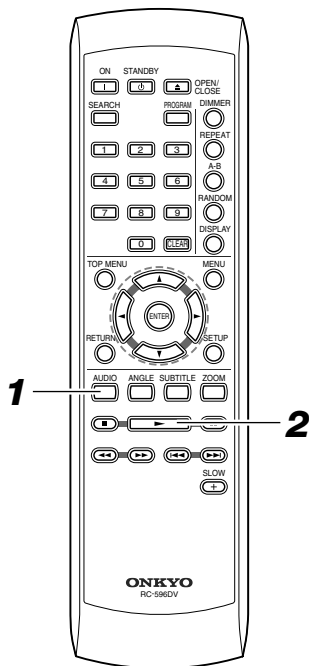
1

停止中にAUDIO（オーディオ）ボタンを押して、聞きたいエリアに切り換える

音声出力を切り換えるときは、ディスクの情報を読み取るため、切り換えに数秒かかります。

（例）マルチチャンネルのスーパーオーディオCDを再生するには

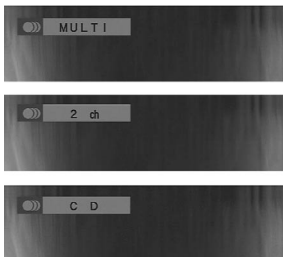
ステレオ2chとマルチチャンネルの両方が記録されているスーパーオーディオCDでは、音声出力を切り換えることができます。

テレビ画面

2

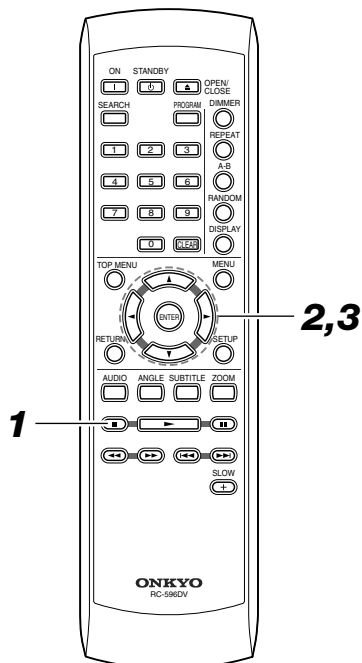
►（プレイ）ボタンを押す

再生が始まります。

！ヒント

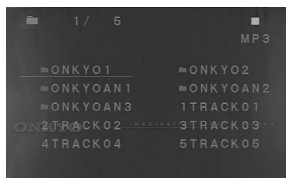
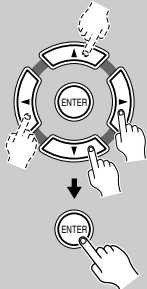
- 音声の種類については、ディスクの説明書をご覧ください。
- スーパーオーディオCDの音声切換は、ディスクを取り出すと、SACDエリアの「MULTI（マルチ）」に戻ります。

MP3/WMAディスクを再生する

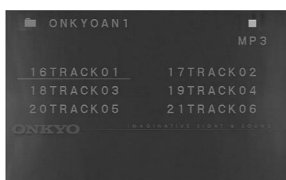
MP3/WMAディスクを再生する

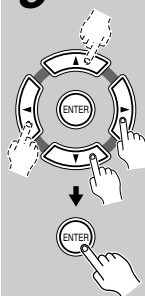
MP3/WMAファイル形式で記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。

MP3/WMAディスクのフォルダを選んで再生する

1

MP3/WMAディスクをセットし、■（ストップ）ボタンを押す

フォルダ選択画面が表示されます。

2

▲/▼/◀/▶ボタンで「フォルダ」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

トラック選択画面が表示されます。

- フォルダにカーソルを合わせて▶（プレイ）ボタンを押すと、そのフォルダ内のトラックの先頭から再生が始まります。
  RETURN（リターン）ボタンを押すと、フォルダ選択画面に戻ります。
- フォルダ内のトラックを再生すると停止します。

3

▲/▼/◀/▶ボタンで「トラック」を選び、ENTERボタンを押す

選んだトラックから再生が始まります。

再生中にスキップをするには

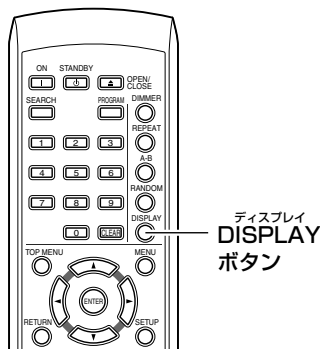
再生中に|◀◀または▶▶|ボタンを押します。
- 再生中のトラックがあるフォルダ内でスキップされます。

くり返して再生をするには（リピート再生）

再生中にREPEAT（リピート）ボタンを押します。
- 押すたびに「トラック」→「フォルダ」→「消灯（通常再生）」の順に切り換わります。

！ヒント

- 数字ボタン を押してトラック番号を入力し、ENTER（エンター）ボタンを押しても再生することができます。
- 再生中のトラックでないところにカーソルを移動しているときに、10秒以上操作がないときは、カーソルのあるトラックが再生されます。
- 記録されているトラックの順番通りに再生されないことがあります。
- 認識できる階層は、フォルダ、トラックを含め8階層までです。
- トラックは256まで認識できます。
- マルチセッションディスクも再生することができます。
- 第1セッションがCDフォーマット形式で記録されている場合、音楽用CDと認識されCDフォーマット形式のみ再生されます。
- フォルダ数が多いときや、フォルダツリーの構造によっては、読み取りに時間がかかることがあります。
- フォルダ名、トラック名は8文字まで表示できます。文字や記号によっては、正しく表示されないものがあります。
- 高速でデータを記録したディスクの場合、雑音が出たり、再生できないことがあります。
- MP3ファイルを音楽用CDとして記録されたCD-R/CD-RWは、MP3ディスクの操作はできません。そのときは、CDの操作をしてください。
- MP3とWMAファイルが混在しているディスクの場合、先に読み込んだ方のファイル形式のみ表示・再生します。

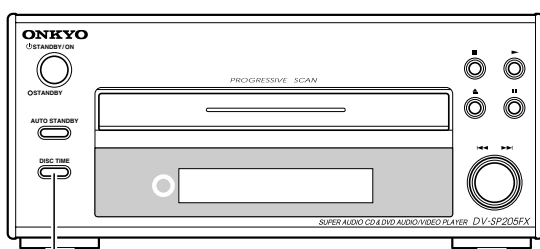
テレビや本体の表示内容を切り換える

テレビ画面の表示を切り換える

再生中に、リモコンのDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押す

表示モードは次の3種類あります。

- 3秒間表示するモード
- 常時表示するモード
- 表示しないモード

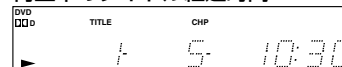
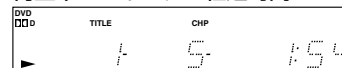
押すたびに表示モードが切り換わります。

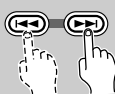
例：DVDビデオの場合

DISC TIME（ディスク タイム）ボタン

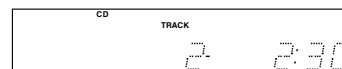
本体の表示部の表示内容を切り換える

■再生中に切り換える

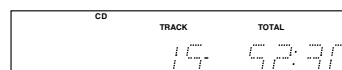
再生中に本体のDISC TIME（ディスク タイム）ボタンを押す

押すたびに表示部の表示内容が切り換わります。

■停止中に切り換える（スーパーオーディオCD/CD）

1

スーパーオーディオCD/CDの停止中に|◀◀/▶▶|ボタンを押して、曲番を選ぶ

選んだ曲番の再生時間を表示します。

2

■（ストップ）ボタンを押す

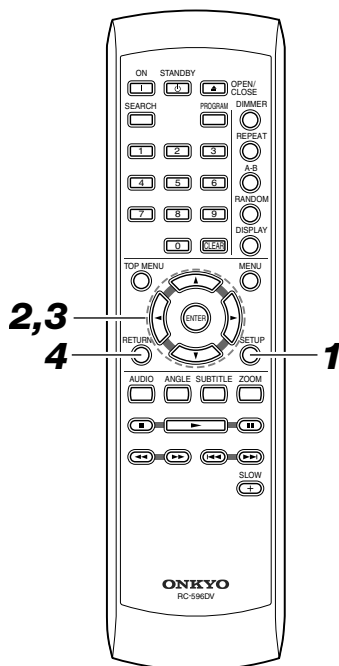
総再生時間が表示されます。

ご注意

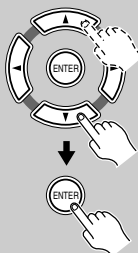
- ディスクによってはタイトル番号、チャプター番号、再生経過時間を表示しないものがあります。
- ジャケットなどに記載されている再生時間には、曲間の無音時間などが含まれていないものもあります。そのため、本機の表示内容と合わないことがあります。
- 再生中の経過時間の表示は、実際の時計の時間と異なることがあります。
- ＭＰ３の再生中は、総再生経過時間は表示されません。また、再生時間を切り換えることはできません。

再生設定画面からいろいろな設定を変える

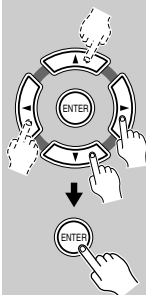
再生設定画面からいろいろな設定を変える DVD-V DVD-A CD VCD SACD

再生設定画面からは、いろいろな項目の設定を同時に変更することができます。設定をまとめて変更するときなどに便利です。

1

再生中にSETUP(セットアップ)ボタンを押す

2

▲/▼ボタンを押して「項目」を選び、ENTER(エンター)ボタンを押す

例：DVDビデオの場合

3

▲/▼/◀/▶ボタンを押して設定を変更し、ENTERボタンを押す

例：「ガンマ」を選んだ場合

続けて他の設定を変更するときは、手順**2**からくり返してください。

4

RETURN(リターン)ボタンを押す

設定が登録され、再生画面に戻ります。

ご注意

- ディスクにより項目が選べないことがあります。
- 項目や設定を選んでいるときに、RETURNボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。
- DVDオーディオでは、タイトルのかわりにグループが、チャプターのかわりにトラックが表示されます。

直接設定項目を選ぶには、下記のボタン（リモコン）を押します。

設定項目	ボタン	参照ページ
タイトル番号	SEARCH	P31、44
チャプター番号	SEARCH	P31、44
再生経過時間	SEARCH	P31、44
字幕言語	SUBTITLE	P35
アングル番号	ANGLE	P36
音声言語	AUDIO	P35、42

再生設定画面からいろいろな設定を変える

画像を明るくする

再生中に画像が暗くて、見づらい部分を明るく補正します。

1

前ページ手順2で「 」を選ぶ

2

▲/▼ボタンで「入」を選び、◀/▶ボタンでレベルを調整する

レベル	設定内容
切	通常の明るさ
入 ▷►►	少し明るく
入 ▷▷►	より明るく
入 ▷▷▷	さらに明るく

もとの明るさに戻すには
▲/▼ボタンで「切」を選ぶ。

3

ENTERボタンを押す

画質を鮮明にする

細かな部分や輪郭を強調して、鮮明な画質にします。

1

前ページ手順2で「 」を選ぶ

2

▲/▼ボタンで「入」を選び、◀/▶ボタンでレベルを調整する

レベル	設定内容
切	通常の画質
入 ◄▷►►	少し鮮明に
入 ◄▷▷►	より鮮明に
入 ◄▷▷▷	さらに鮮明に
入 ◁►►►	やわらかな画質

もとの画質に戻すには
▲/▼ボタンで「切」を選ぶ。

3

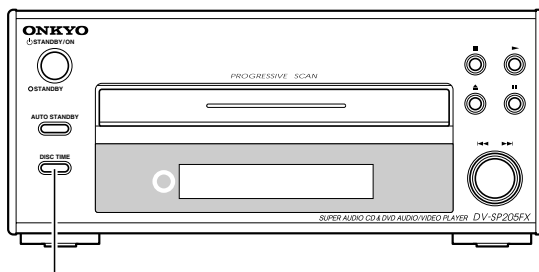
ENTERボタンを押す

オートスタンバイ機能を使う

オートスタンバイ機能とは、本機が自動的にスタンバイ状態になる機能です。
この機能を使うと、テレビ画面の焼き付きを軽減できます。
この機能は、本機にディスクが入っていないとき、ディスクトレイが開いたままになっているとき、ディスクが停止または一時停止状態のときに、何も操作しない状態で10分経過したときに働きます。

- お買い上げ時は、この機能が働く設定（ON（オン））になっています。

1,2

1

AUTO（オート） STANDBY（スタンバイ）ボタンを押す

表示部に現在の設定が表示されます。

A.（オート） STBY（スタンバイ） OFF（オフ）：
オートスタンバイ機能は働きません。

A. STBY ON（オン）：
オートスタンバイ機能が働きます。

2

AUTO STANDBYボタンを押して「ON」または「OFF」を選ぶ

ボタンを押すごとに、OFFとONが切り換わりますので、希望する設定を表示させてください。

初期設定を変える

初期設定を変える

初期設定を変更すると、電源を切っても変更した内容を記憶しています。
もとに戻したり、変更するときは、もう一度設定し直してください。

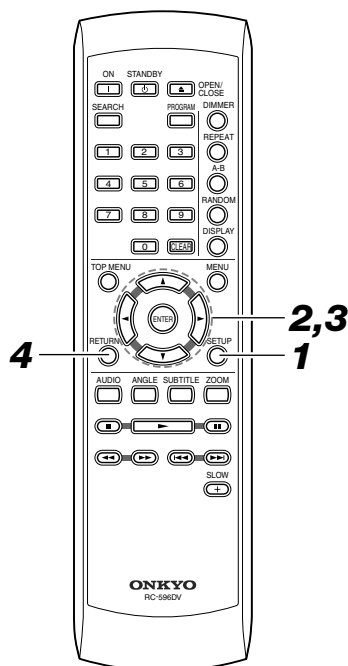
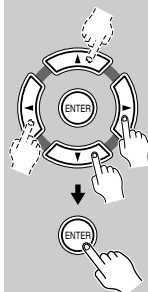
1

SETUPボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

2

▲/▼ボタンで「設定項目」を選び、ENTERボタンを押す

設定項目は、53ページの表をご覧ください。

3

▲/▼/◀/▶ボタンで「項目」を選び、ENTERボタンを押す

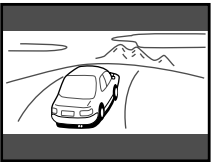
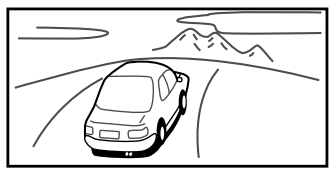
続けて他の設定を変更するときは、手順**2**からくり返してください。

4

RETURNボタンを押す

設定した内容が登録されます。

ご注意

- ディスクの再生中は初期設定画面が表示されません。
- 再項目や設定を選んでいるときに、RETURNボタンを押すと一つ前の画面に戻ります。

設定項目	選択できる項目		設定内容	参照ページ
映像出力設定	映像出力設定	※	接続するテレビのタイプに合わせて設定します。	P54
	プログレッシブ再生	「入」 「切」※	接続するテレビがプログレッシブスキャン方式に対応している場合は、「入」にすると高密度の映像が楽しめます。対応していない場合は、「切」にしてください。	P54
	DVD-AUDIO（ディスクを入れていないときのみ選択できます。）	AUDIO ※ VIDEO	DVDオーディオには、DVD-AUDIOとDVD-VIDEOの両方が記録されているものがあります。このうち、どちらを優先して再生するかを設定します。	P28
視聴制限設定（パレンタル）	パスワード	4ケタのパスワードを入力	視聴制限設定の「レベル」と「国コード」を変更するときに必要な4ケタのパスワードを設定します。パスワードを忘れたときは、数字ボタンのかわりに■（ストップ）ボタンを4回連続して押せば解除できます。	P55
	レベル	レベル1 ～ 8 切※	DVDソフトの視聴制限のレベルを設定します。	P55
	国コード	アメリカ カナダ 日本※ ：	ディスクが指定している視聴制限の国コードを設定します。	P55
音声出力設定	DIGITAL出力	ビットストリーム※ D-PCM	DIGITAL OUTPUT（OPTICAL）端子に他の機器を接続したときは、他の機器に合った音声出力に設定することができます。	P55
ディスク言語設定	音声言語	日本語 英語※ オリジナル その他	スピーカーから聞こえる音声言語の種類を設定します。 設定した言語がディスクに記録されていないときは、ディスクで決められた言語が再生されます。 オリジナル･･･ディスクの最優先言語で再生したいときに設定します。	P56
	字幕言語	日本語※ 英語 オート その他	テレビに表示される字幕言語の種類を設定します。 設定した言語がディスクに記録されていないときは、ディスクで決められた言語が表示されます。 オート･･････ 音声言語に合わせて自動的に字幕を表示します。（例：音声言語で日本語を選んでいるとき、日本語の音声が再生されたときは、字幕を表示しません。英語など日本語以外の音声が再生されたときは、日本語の字幕を表示します。）	P56
	メニュー言語	JA※ ：	ディスクメニューなど画面表示される言語の種類を設定します。 設定した言語がディスクに記録されていないときは、ディスクで決められた言語が表示されます。	P56

（※は、お買いあげ時の設定）

接続するテレビの画面サイズについて

選択項目	設定内容
4:3 PS	ワイド画像（16:9記録）のディスクを再生したとき、画像の左右をカット（パンスキャン）して、4:3のサイズで映像を出力します。違和感の少ない画像を楽しむことができます。 ただし、パンスキャン PS 指定のないワイド画像（16:9記録）のディスクは、4:3 LB で再生されます。 4:3画像のディスクは、そのまま4:3で再生されます。
4:3 LB	ワイド画像（16:9記録）のディスクを再生したとき、画像の上下に黒い帯を入れて、4:3のサイズで映像を出力します。 ワイド画像（16:9記録）の全体を楽しむことができます。 4:3 画像のディスクは、そのまま4:3 で再生されます。
16:9	ワイド画像（16:9記録）のディスクを再生したとき、ワイド画像（16:9記録）のサイズで出力します。 ●4:3画像のディスクを再生したときは、接続したテレビの設定により表示が変わります。 ●4:3のテレビを接続した状態で 16:9 を選んでいるとき、ワイド画像（16:9記録）のディスクを再生すると、縦長の画面になります。

ご注意

画像の形が固定されているディスクでは、テレビの画面サイズを変更しても、画像の形は変わりません。

プログレッシブ再生の設定について

プログレッシブ対応のテレビに、D端子ケーブル（またはD端子←→コンポーネント端子変換ケーブル）で接続し、ディスクを再生すると、ちらつきの少ないきれいな映像を楽しむことができます。

選択項目	設定内容
入 （プログレッシブ）※1	プログレッシブ対応のテレビに接続したときはこの設定にします。 プログレッシブ方式で映像を出力し、ちらつきの少ないきれいな映像を楽しむことができます。
切 （インターレース）※2	プログレッシブ対応されていないテレビに接続したときはこの設定にします。 インターレース方式で映像が出力されます。

※1：**プログレッシブ**
とび越し走査（インターレース）しないで1フィールド目で525本の走査線を順番通りに描き、次のフィールドで再度同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

※2：**インターレース（とび越し走査）**
525本の走査線のうち、まず奇数番目の走査線（262.5本）を1/60秒で描きます。（この1画面を1フィールドと言います）
次に偶数番目の走査線（262.5本）を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像（この画像を1フレームと言います）を作っていく方式のことです。

プログレッシブ対応されていないテレビと接続したときのお願い
本機の「プログレッシブ再生」の設定を「入」にすると、テレビ映像が出力されなくなります。そのときは、付属のビデオコードを接続したあとテレビをビデオ入力に切り換えて、「プログレッシブ再生」の設定を「切」にしてください。

プログレッシブ対応テレビの互換性について
一部のプログレッシブ対応テレビは、本機と完全な互換性が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。不具合が生じた場合は、「プログレッシブ再生」の設定を「切」にしてください。

視聴制限(パレンタル)レベルについて

選択項目	設定内容
レベル1	子供向けディスクを再生することができます。成人向けディスクと一般向けディスク(R指定を含む)は再生できません。 •レベル1のディスクは誰でも楽しめる内容です。
レベル2〜3	子供向けディスクと一般向けディスク(R指定を除く)を再生することができます。成人指定ディスクと一般向け制限付き(R指定)ディスクは再生できません。
レベル4〜7	子供向けディスクと一般向けディスク(R指定を含む)を再生することができます。成人指定ディスクは再生できません。 •レベル4 〜 7のディスクは中学生以下が見ることができない内容です。
レベル8	すべてのディスクを制限なしに再生することができます。 •レベル8のディスクは成人しか見ることができない内容です。
「切」	視聴制限を解除します。
国コード	ディスクが指定している視聴制限の国コードです。

アメリカ	スウェーデン	マレーシア
カナダ	オランダ	インドネシア
日本	ノルウェー	台湾
ドイツ	デンマーク	フィリピン
フランス	フィンランド	オーストラリア
イギリス	ベルギー	ロシア
イタリア	香港	中国
スペイン	シンガポール	
スイス	タイ	

ご注意

- 初めてパスワードを入力するときは、任意の4ケタの数字(例:1234)を入力すると、その数字がパスワードとして登録されます。次からパスワードを入力するときは、「1234」と入力してください。
- 視聴制限が記録されているディスクを再生中に、見ることができない場面では、視聴制限の一時変更画面が表示されることがあります。そのときは、パスワードを入力して一時的に視聴制限レベルを変更することができます。

CDの音声をMDレコーダーで録音する

DIGITAL OUTPUT(OPTICAL)端子に光デジタルケーブルを接続すると、ディスクの音声をMDレコーダーなどで録音することができます。
DIGITAL OUTPUT(OPTICAL)端子にMDレコーダーなどを接続するときは、音声出力設定のDIGITAL出力を「D-PCM」に設定してください。
また、DIGITAL OUTPUT(OPTICAL)端子とドルビーデジタルに対応していないアンプと接続しているときも、「D-PCM」に設定してください。(☞21ページ)

ビットストリーム	5.1chのドルビーデジタル/DTSデジタルサラウンド対応プロセッサーなど
D-PCM	2chのデジタル入力端子つきアンプなど

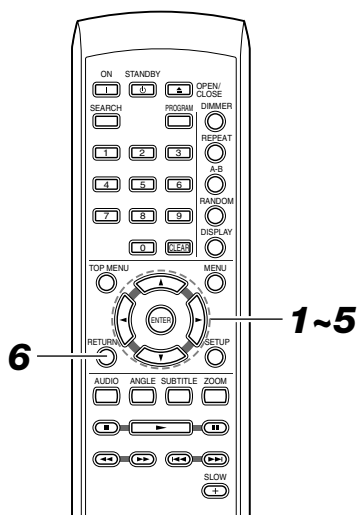
ご注意

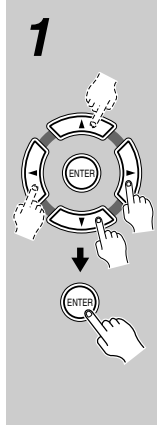
- ディスクによっては、コピー禁止になっているものがあります。このようなディスクからデジタル録音はできません。
- DVDビデオの音声は、96kHzサンプリングのリニアPCM音声で記録されているDVDを再生したとき、デジタル出力される音声は96kHzサンプリングの音声となります。ディスクによっては、48kHzとなる場合があります。
- SACDの音声は、DIGITAL OUTPUT(OPTICAL)端子からは出力されません。
- DVDオーディオの音声は、DIGITAL OUTPUT(OPTICAL)端子から出力されないものがあります。
- ディスクによっては、デジタル音声のサンプリング周波数が自動的に切り換わって出力されるもの、まったく出力されないものがあります。
- MP3/WMAは、コピーできません。

ディスク言語について

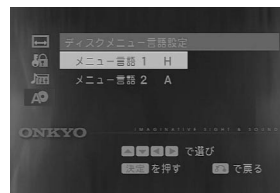
選択項目	設定内容
音声言語	再生したい音声の言語を設定します。 優先的に設定した言語でセリフやナレーションが聞こえます。
字幕言語	再生したい字幕の言語を設定します。 優先的に設定した言語で字幕が表示されます。
メニュー言語	再生したいメニューの表示言語を設定します。 優先的に設定した言語でメニュー画面が表示されます。

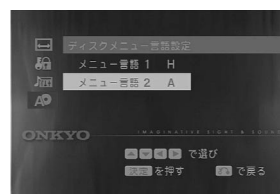
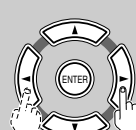
「その他」の言語、「メニュー言語」の設定について

設定したいメニュー言語の言語コードを確認する。（言語コード一覧☞57ページ）

例：メニュー言語に、HU（ハンガリー語）を選ぶ場合

1

初期設定画面で「ディスク言語設定」を選び（☞52ページ手順*1*、*2*）「メニュー言語」を選んだ後、ENTER（エンター）ボタンを押す

2

◀/▶ボタンで1文字目のアルファベット「H」を選ぶ

3

▲/▼ボタンでカーソル2文字目に移動させる

4

◀/▶ボタンで2文字目のアルファベット「U」を選ぶ

5

ENTERボタンを押す

6

RETURN（リターン）ボタンを2回押す

設定した内容が登録されます。

DV-SP205FX(47-60)(SN29343902)　56　04.9.14, 6:17 PM
ブラック

■言語コード一覧表

記号	言語名
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バジキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DE	ドイツ語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EN	英語
EO	エスペラント語
ES	スペイン語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FR	フランス語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラート語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディ語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語

記号	言語名
IE	国際語
IK	イヌピック語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IT	イタリア語
IW	ヘブライ語
JA	日本語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カンナダ語
KO	韓国語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラドビア語、レット語
MG	マダカスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MS	マレー語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NL	オランダ語
NO	ノルウエー語
OC	プロバンス語
OM	アファン語（オロモ語）
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ＝ロマン語

記号	言語名
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニャルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンゴ語
SH	セルビアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥ語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ボラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZH	中国語
ZU	ズール語

スピーカーの初期設定を変える

接続したスピーカーに合わせて、いろいろな初期設定を変更することができます。

- **スピーカーサイズの設定（☞下項）**
- **スピーカー音量レベルの設定（☞59ページ）**
- **クロスオーバーの設定（☞60ページ）**

この設定は、アナログ5.1チャンネル出力に効果があります。

ご注意

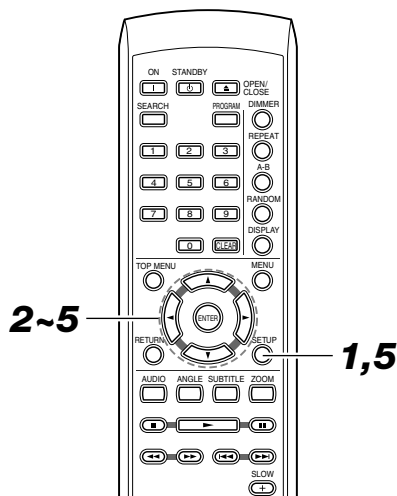
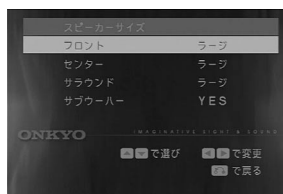
スーパーオーディオCD/DVDオーディオの再生中に、初期設定を変えることはできません。

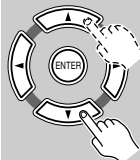
スピーカーサイズの設定 DVD-A SACD

フロントスピーカー、センタースピーカー、サラウンドスピーカーのスピーカーサイズの設定、およびサブウーハーの有無を変更することができます。また、センタースピーカー、サラウンドスピーカー、サブウーハーから音を出さないように設定することもできます。

1

停止中または、ディスクが入っていない状態でSETUP（セットアップ）ボタンを3秒以上押し続ける

2

ENTER（エンター）ボタンを（くり返し）押して、「スピーカーサイズ」を選ぶ

3

▲/▼ボタンで「設定したいスピーカー」を選ぶ

4

◀/▶ボタンで「スピーカーサイズ」を選ぶ

スピーカーの大きさの目安

ユニット部直径

目安としては、お手持ちのスピーカーのユニット部が直径16cm以上の場合は「ラージ」、それ以下の場合は「スモール」を選んでください。

スピーカーの種類	スピーカーサイズ	
フロントスピーカー「左」「右」	スモール*	小口径
	ラージ	大口径
センタースピーカー	スモール*	小口径
	ラージ	大口径
	NO	切
サラウンドスピーカー「左」「右」	スモール*	小口径
	ラージ	大口径
	NO	切
サブウーハー	YES*	有
	NO	無

* 印は、お買いあげ時の設定です。

他のスピーカーを設定するときは、手順***3***からくり返してください。

5

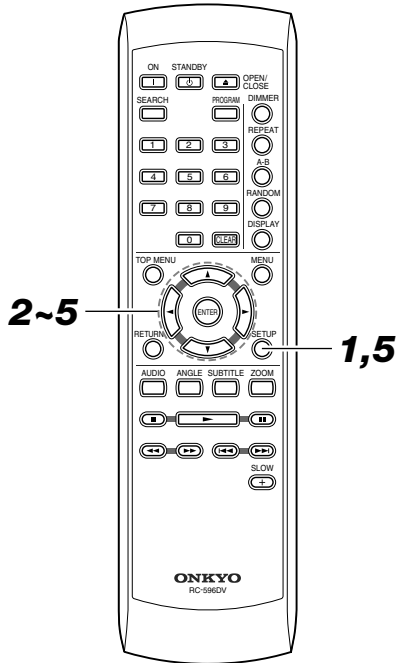
SETUPボタンを押すと初期設定を終了し、ENTERボタンを押すと「スピーカーレベル」に移る

「ラージ」を選んだときは、そのチャンネル信号の全帯域がそのスピーカーに出力されます。
「スモール」を選んだときは、サブウーハーに出力されます。

！ヒント

DVDオーディオやスーパーオーディオCDのディスクによっては、スピーカーサイズを「スモール」に設定してもサブウーハーから音が出ないものがあります。

スピーカー音量レベルの設定 DVD-A SACD

各スピーカーから聞こえる大きさが合っていないときは、同じような音量レベルに調整することができます。

1

SETUP

停止中または、ディスクが入っていない状態でSETUP（セットアップ）ボタンを3秒以上押し続ける

2

ENTER（エンター）ボタンを（くり返し）押して、「スピーカーレベル」を選ぶ

3

▲/▼ボタンで「設定したいスピーカー」を選ぶ

4

◀/▶ボタンで「レベル」を調整する

スピーカーの種類		調整範囲	初期設定値
FL	フロントスピーカー「左」	−10dB～0dB	0dB
CT	センタースピーカー	−10dB～0dB	0dB
FR	フロントスピーカー「右」	−10dB～0dB	0dB
SR	サラウンドスピーカー「右」	−10dB～0dB	0dB
SL	サラウンドスピーカー「左」	−10dB～0dB	0dB
SW	サブウーハー	−6dB～+6dB	0dB

- レベルの調整は、1dB 単位で切り換えることができます。
- 他のスピーカーレベルを調整するときは、手順***3*** からくり返してください。

5

SETUPボタンを押すと初期設定を終了し、ENTERボタンを押すと「クロスオーバー」に移る

ご注意

サブウーハーの音が大きすぎて歪むときは、サブウーハーのレベルを下げてください。

スピーカーの初期設定を変える

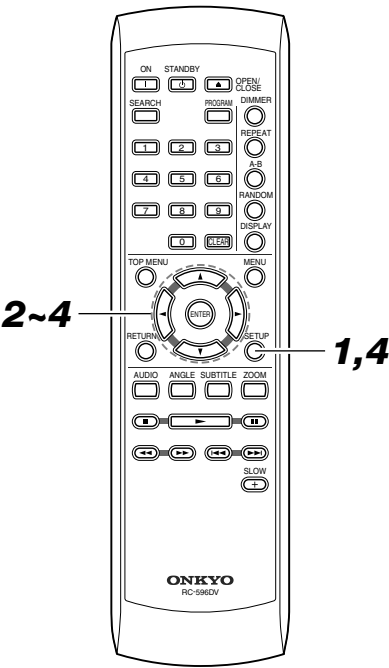
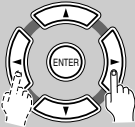
クロスオーバーの設定 SACD

スーパーオーディオCD再生時にスピーカーが出力する低音域を設定します。

1

停止中または、ディスクが入っていない状態でSETUP(セットアップ)ボタンを3秒以上押し続ける

2

ENTER(エンター)ボタンを(くり返し)押して、「クロスオーバー」を選ぶ

3

◀/▶ボタンで「設定値」を選ぶ

クロスオーバー設定値を環境に合った数値に設定します。

目安としてサブウーハーがある場合は、フロントスピーカーのユニット部の直径を、サブウーハーがない場合は「スモール」に設定したスピーカーユニットの直径を目安にします。

ユニット部の直径	クロスオーバー設定値
16 cm 以上	80
13～16 cm	100*
9～13 cm	120
9 cm 以下	150

＊印は、お買い上げ時の設定です。

4

SETUPボタンを押すと初期設定を終了し、ENTERボタンを押すと「スピーカーサイズ」に移る

困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もありますので、他機の取扱説明書も参照しながら合わせてご確認ください。

電　源	参照ページ
電源が入らない ● 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。	P26
● 一度電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。	

ディスクの再生	
ディスクの再生ができない ● ディスクはディスクトレイに正しくセットされていますか？ ディスクの再生面を下にしてディスクトレイに置いているか確認してください。	P28
● ディスクは汚れていないか確認してください。	P10
● 本機で再生できるディスクかどうか確認してください。	P8
● リージョン番号が本機に合っていないディスクは再生できません。	P8
● パレンタルが働いている場合は、パレンタルの解除、またはレベル変更を行ってください。	P55
● 結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。	
ディスクの再生順序通りに再生できない ● リピート再生、プログラム再生、ランダム再生等の特別な再生モードを解除してください。	P32、33、43、45

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDの再生	
再生時に雑音が入ったり、音飛びする/ディスクを認識せず「NO DISC」の表示が出る/1曲目を再生しない/頭出しに通常よりも時間がかかる/曲の途中から再生する/再生できない箇所がある/再生の途中で停止する/誤表示する ● 再生しているディスクは複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。	

各種設定	
設定内容が消える ● 電源が入っているときに、停電や電源プラグが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。 電源プラグは必ず本体のSTANDBY/ON、またはリモコンのSTANDBYを押して、本機をスタバイ状態にしてから抜いてください。	
設定が変更できない ● 再生中は変更できない項目がありますので、その場合は停止してから変更してください。	

映　像	
画面が縦または横に伸びている ●「映像出力設定」がテレビと合っていない。設定してください。	P54
再生画像が時々乱れる ● ディスクが汚れていないか確認してください。	
● 早送り、早戻しをすると画像が多少乱れることがあります。これは本機の故障ではありません。	
● 一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換がとれていないため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は、本機のプログレッシブを解除し、テレビ側のプログレッシブ機能をお使いください。	P54
再生画像の明るさが一定しない。または、再生画像にノイズが入る ● 本機をビデオデッキ経由でテレビに接続している場合は、コピー防止機能が働きますので、直接テレビに接続してください。	P19
● テレビやモニターによっては再生時の色の濃さ（カラーレベル）がわずかに薄くなったり、色合い（ティント）が変わったりする場合があります。この場合は、テレビやモニターを調節して、適切な状態にしてください。	
映像がテレビ画面にあらわれない ● 接続したテレビ、またはアンプの入力設定が正しいか確認してください。	
● テレビのD1端子へ接続している場合は、プログレッシブを解除してください。	P54

音　声	
再生しているディスクの音声が出てこない（アナログ接続、デジタル接続共通） ● コードがしっかり差し込まれているか確認してください。	P20、21
● 接続した機器の入力端子を間違えていないか確認してください。	P20、21
● 接続した機器の入力設定を間違えていないか確認してください。	

困ったときは

- 一時停止、スロー再生、早送り、早戻しでは音が出ませんので、►（プレイ）ボタンを押して通常再生に戻してください。
- テレビまたはアンプ等のボリュームが最小になっていないか確認してください。

再生しているディスクの音声が出てこない（デジタル接続）
- 接続している機器が対応していない音声方式を再生している。 P55
- DVDオーディオ、スーパーオーディオCDの5.1チャンネル音声はデジタル出力されません。アナログ接続を行ってください。 P20、21

音声がモノラル出力になっている
- ビデオCD再生時、AUDIOボタンを押してL（左）、R（右）に設定した場合はモノラル出力となります。ステレオに戻す場合は、AUDIOボタンを押して、ステレオに設定してください。 P42

MP3/WMAの再生

MP3/WMAファイルを記録したディスクが再生できない
- 記録したディスクがIS09960に準拠しているか確認してください。 P9
- MP3/WMAファイルを記録したディスクがファイナライズされていることを確認してください。 P9

ディスクに記録されているトラック（MP3ファイル）を選択できない
- MP3は「.mp3」または「.MP3」以外の拡張子がついていると認識できませんので、拡張子を変更してください。 P9
- WMAは「.wma」または「.WMA」以外の拡張子がついていると認識できませんので、拡張子を変更してください。 P9
- 本機では257以上のフォルダーまたはトラックを認識できません。 P9

DVDオーディオの再生

DVDオーディオのマルチチャンネル音声が再生できない
- AVアンプと5.1チャンネル接続されていない。5.1チャンネル接続をしてください。 P20、21

DVDオーディオのグループを切り換えられない
- サーチモードで切り換えてください。 P31

DVDオーディオの中に収録されているDVDビデオが再生できない
- 「映像出力設定」の「DVD-AUDIO」が「DVD AUDIO」に設定されている。「DVD VIDEO」にしてください。 P53

スーパーオーディオCDの再生

ハイブリッドディスクのマルチチャンネルエリアが再生できない
- 音声を「MULTI」にしてください。 P46

デジタル音声で出力されない
- スーパーオーディオCDの音声はデジタル出力されません。アナログ接続を行ってください。 P20、21

リ モ コ ン

本体のボタンは働くが、リモコンのボタンが働かない
- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。 P16
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？リモコンと本体の間に障害物がありませんか？ P16
- 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？ P16
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、正常に機能しないことがあります。 P16

MDやCD-Rへの録音

INTEC205シリーズの組み合わせで使用しているとき、MDやCD-RへのCDダビングができない
- 設定と接続をお確かめください。 P23〜25

そ の 他

希望する言語で、字幕、音声が出力されない
- 設定した言語がディスクに記録されていない。

システム機能が効かない
- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。（RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません） P22
- SYSTEM（システム） MODE（モード）スイッチの設定が正しいか確認してください。 P24

■こんな表示が出たときは

テレビ画面表示	内容
⃠このディスクは再生できません。	再生できないディスクを入れたり、表裏を逆に入れたとき
地域番号が違います。	リージョン番号が「2」、「ALL」以外のDVDを入れたとき
ディスクを入れてください。	ディスクが入っていないとき
⃠この操作はできません。	• 誤った操作をしたとき • 操作を禁止されている場面で操作をしたとき
⃠このディスクでこの操作は禁止されています。	本書に記載されている操作をディスク側で禁止しているとき

- 本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて、約5秒後にあらためて電源プラグを差し込んでください。

- 本機が誤動作する場合は、STANDBY/ONボタンを押して本機をスタンバイ状態にした後、■ボタンを押しながらSTANDBY/ONボタンを押してください。この操作を行うと設定した内容は全て消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。

- 製品の故障により正常に録音・録画できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりません。大事な録音をするときは、あらかじめ正しく録音・録画できることを確認の上、録音・録画を行ってください。

用語集

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率。通常のテレビでは、4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。

インターレース
映像の1フレーム（コマ）を2つの画像を続けて表示し、人間の目の残像効果で1枚の画像に見せている方式。1秒を30フレームで構成している。

拡張子
OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。

スーパーオーディオCD
CDの規格をベースに、多くのデータが記録された高音質規格です。スーパーオーディオCDには、1層ディスク、2層ディスク、ハイブリッドディスクの3種類があります。
ハイブリッドディスクはスーパーオーディオCDとCDの両方の構造を持ち合わせています。

ダイナミックレンジ
信号を正しく変換する最大のレベルと雑音等、機器の性質で制限させる最小レベルの差。

パレンタル（視聴制限）
国ごとの規正レベルに合わせて視聴制限に対応したディスクの再生を制限する、というDVDプレーヤーの機能のひとつ。制限のしかたはDVDビデオによって異なり、全く再生できない場合や過激な場面をとばしたり、別の場面に差し替えて再生する場合などがあります。

光デジタル出力
音声信号をデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたもの。

ビットストリーム
ドルビーデジタルやDTS（ディーティーエス）フォーマットのデジタルデータ。

ビデオCD
MDと同等の音質とVHS並みの画質で動画再生が楽しめるディスク。デジタル信号の圧縮技術（MPEG1（エムペグ1）方式）により最大74分のデジタル画像と音声が連続再生できます。
ビデオCDにはメニュー画面で見たい場面を選んだり、静止画を再生できる"プレイバックコントロール（PBC（ピービーシー））"対応のディスクがあります。

ビットレート（Bit Rate）
DVDビデオに圧縮して記憶されている画像の1秒あたりの情報量を示す値。
単位はMbps（Mega（メガ） bit（ビット） per（パー） second（セカンド））で、1Mbpsは1秒あたりの情報量が1,000,000ビットであることを表します。
この値が大きいほど画像の情報量は多くなりますが、必ずしも画質とは直接関係しません。

プログレッシブ
映像の1フレーム（コマ）を1つの画像で表示する方式。プログレッシブは1秒を60フレームで構成するため、大画面でも静止画や文字などが多い場面、激しい動きのある場面でも画面のちらつきが気にならない高品質な画像を再現できる。

マルチアングル
DVDビデオの機能のひとつで、同じ場面が視点を変えて複数のアングル（カメラの位置）で記録されていることです。

リジューム機能
DVDビデオ、ビデオCD再生中に■（ストップ）ボタンを押した位置を記憶し、▶（プレイ）ボタンを押すと停止した部分から再生をはじめる機能。

リニアPCM
DVDの音声デジタル記録の1つで、圧縮をしていない記録方式。CDと同じ記録方式ですが、サンプリング周波数が48kHz、96kHz（CDは44.1kHz）で記録されており、CDの音質を上回ります。

CD-R（Compact（コンパクト） Disc（ディスク）-Recordable（レコーダブル））
一度だけ記録できるCD規格で、記録部の書き換えは不可能。記録されたメディアは、CD-ROMドライブやCDプレーヤーで読み出せます。

CD-RW（Compact（コンパクト） Disc（ディスク）-ReWritable（リライタブル））
書き換え可能なCD規格のこと。記録されたメディアは、基本的にはCD-ROMドライブやCDプレーヤーで読み出すことが可能ですが、反射率が低いため読めないドライブやプレーヤーもあります。

DVDビデオ
CDと同じ直径で、最大8時間までの動画が記録できるディスク。
片面一層で4.7GB（Giga（ギガ） Byte（バイト））とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できます。
画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」（エムペグ2）を採用し、映像データを約1/40（平均）に圧縮して記録します。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用され
ています。音声情報はPCM（ピーシーエム）の他、ドルビーデジタルを用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめます。
またマルチアングル、マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができます。

DVDオーディオ
DVDビデオ規格をベースに、音質に特化したディスクです。音質を良くするために、192kHZサンプリングに対応しています。

DVD-R（Digital（デジタル） Versatile（バーセティル） Disc（ディスク）-Recordable（レコーダブル））
一度だけ記録でき、追記可能なDVDフォーマット。

DVD-RW（Digital（デジタル） Versatile（バーセティル） Disc（ディスク）-ReWritable（リライタブル））
書き換え可能なDVDフォーマット。

LFE
ドルビーデジタルやDTSの低周波数効果音のこと。一般にディスクなどの信号に入っているとサブウーファーが効果的に働きます。

MPEG（Moving Picture Experts Group）
動画音声圧縮方法の国際標準。ビデオCDはMPEG-1で、DVDはMPEG-2で記録されています。

MPEG-1オーディオ
サンプリング周波数32、44.1、48kHzのモノラルもしくは2chの信号を符号化の対象としている。符号化はその複雑度に応じてレイヤー1、2、3から構成されている。レイヤー2はビデオCDで広く採用され、レイヤー3はMP3という通称でインターネットにおける圧縮オーディオ配信や半導体メモリープレーヤーで採用されている。

MPEG-2オーディオ
MPEG-1オーディオを3チャンネル以上のマルチチャンネルオーディオ、マルチ音声言語対応した規格と、16、22.05、24kHzという低いサンプリング周波数に対応するように拡張した2つからなる。符号化はMPEG-1と同じ構成ですがMPEG-2オーディオはDVDの圧縮オーディオ方式の1つ。

MP3（MPEG Audio Layer-3）
映像データ圧縮方式として知られているMPEG-1で利用され、現在パソコンの世界では最も普及している音声圧縮方式。CDに近い音質を保ったまま、データ量を1/11程度に圧縮することができます。

PBC（プレイバックコントロール）
ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号。
PBC対応ビデオCDに記録されているメニュー画面（選択画面）を使って、簡単な対話型ソフトや、検索機能を持ったソフトなどを楽しめます。

主な仕様

ビデオ部

映像出力/インピーダンス：
1.0V（p-p）、75Ω、同期負、ピンジャック
S映像出力/インピーダンス：
（Y）1.0V（p-p）、75Ω、同期負、ミニDIN4ピン
（C）0.286V（p-p）、75Ω
D2/D1映像出力/インピーダンス：
（Y）1.0V（p-p）、75Ω
（PB/CB）、（PR/CR）、0.7V（p-p）、75Ω、D端子
コンポーネント映像周波数特性：DC～15MHz

オーディオ部

音声周波数特性（デジタル音声）：

DVDオーディオ	4Hz～60MHz（192kHz）
DVDリニア	4Hz～22MHz（48kHz）
	4Hz～44MHz（96kHz）
CDオーディオ	4Hz～20MHz（44.1kHz）

SN比：98dB
ダイナミックレンジ：96dB
全高調波歪率：0.005%（1kHz）
ワウフラッター：
測定値以下（±0.001% W.PEAK、EIAJ）
出力電圧//インピーダンス：
音声出力（Digital/Optical）－22.5dBm
音声出力（Analog）2.0V（rms）/320Ω

総合

電源・電圧：AC100V・50/60Hz
消費電力：14W
待機時電力：0.25W
最大外形寸法：205（幅）×91（高さ）×343（奥行）mm
質量：2.1kg
許容動作温度：5℃～35℃
再生可能ディスク：
DVDビデオ、DVDオーディオ、DVD-R*（ビデオモード）、DVD-RW*（ビデオモード/VRモード）**、CD、ビデオCD、スーパーオーディオCD、CD-R*、CD-RW*、MP3、WMA

* ファイナライズの状態によっては、再生できない場合があります。
** CPRM技術でコピー保護されたDVD-RW（VRモード）は、再生できないことがあります。

※仕様および外観は予告なく変更することがあります。

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お 名 前
- ▶ お 電 話 番 号
- ▶ ご 住 所
- ▶ 製 品 名　DV-SP205FX
- ▶ で き る だ け 詳 し い 故 障 状 況

■オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

DV-SP205FX(61-E)(SN29343902)　67　04.9.14, 6:18 PM
ブラック

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　　(　　)

メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

http://www.jp.onkyo.com/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：カスタマーセンター
ナビダイヤル ☎ 0570(01)8111（全国どこからでも市内通話料金で通話いただけます）
または ☎ 072(831)8111（携帯電話、PHSから）

Printed in Japan
G0409-1

SN 29343902

29343902